

四

嘉慶拾五年より拾六年迄
御三代伊江親方日々記

嘉慶拾五年庚午

正月廿一日

一 元日、勝連若按司次男蒲戸罷出候ニ付、和扇子

一本完くり候事

一 三日、蒲戸生年之歳日ニ付相祝候事、

一 私より三拾貫文、室より貳拾貫文差遣候事、

一 上下之人數女子共も相招候事、

一 いもね手引一ツ之料理馳走いたし候事、

一 五日、伊波親雲上相招、前川親雲上江相談之趣

承、来ル十二日相誘被罷出度由、申達候事、

咸豊拾壹辛酉十月写

本書落冊
切廢等八除

嘉慶拾五年より拾六年迄午未

御三代伊江親方日々記共七冊

川平殿内

嘉慶拾五年庚午

正月廿一日

一 元日、勝連若按司次男蒲戸罷出候ニ付、和扇子

一本完くり候事、

一 三日、蒲戸生年之歳日ニ付相祝候事、

一 私より三拾貫文、室より貳拾貫文差遣候事、

一 上下之人數女子共も相招候事、

一 いもね手引一ツ之料理馳走いたし候事、

一 五日、伊波親雲上相招、前川親雲上江相談之趣

承、来ル十二日相誘被罷出度由、申達候事、

一前川為筋罷成候様は、後についで表渡り候後

敷方と為たし人敷お振付候様は、

富盛親雲上 大田親雲上 伊波親雲上

知花親方 宜寿次親方 仲村親方

玉城按司 伊良皆里上

一問之吸物・有合之菓子差出、晩者手引一ツ

之料理御馳走いたし候事、

一九月、蒲戸事馬稽古仕候様被仰付、今日も

真喜屋親雲上江師匠付被仰付候事、

但、持参物塩魚・焼酎も被成下候事、

一去年十二月十六日、五色之差物入木綿布

一反拝領被仰付、難有次第三奉存候事、

但、おらも花染三而被成下管候処、仲井真

按司加那志御仕合三付、御城三而右様之

御取仕出難被仰付候間、おら者此方三而

相調可申由、御乳母あや前より豊本江

被仰付候由、

正月
一十三日、表うら島・裏糺羽二重之馬袴

但持参物塩魚・焼酎も被成下候事、

一去年十二月十六日、五色之差物入木綿布

一反拝領被仰付、難有次第三奉存候事、

但、おらも花染三而被成下管候処、仲井真

按司加那志御仕合三付、御城三而右様之

御取仕出難被仰付候間、おら者此方三而

相調可申由、御乳母あや前より豊本江

被仰付候由、

一十二月、表うら島・裏糺羽二重之馬袴

洋紙を御座候事

一十七日宜野山親方嫡子始而罷出候付、扇子

一本・人形一ツ相讓候事

一十八日乘馬御免被仰付、西之御殿参上、

御請奉申上候事

一十九日、明日屋我親雲上・岡村筑登之親雲上乘船二付、

今日両所江饒差遣候事

但、明日乘船三而岡村筑登之親雲上江、私より玉子

五拾、悴よりふたし、一折差遣候事

拝領被仰付候事、
一十七日、宜野山親雲上嫡子始而罷出候付、扇子
一本・人形一ツ相讓候事、
一十八日、乘馬御免被仰付、西之御殿参上、
御請奉申上候事、
一十九日、明日屋我親雲上・岡村筑登之親雲上乘船二付、
今日両所江饒差遣候事、
但、明日乘船三而岡村筑登之親雲上江、私より玉子
五拾、悴よりふたし、一折差遣候事、

一同日、嵩本里之子親雲上罷出、来ル廿五日乗船仕
祝し候間、料理差遣候段、承候事、

但、右二付玉子五拾差遣可申由相達候事、

一幸地親方生年二付、私夫婦・悴夫婦御願書二

被相立候様、差遣候事、

一伊江按司御伯祖母御生年二付、宜寿次親方・

仲村親方相談を以、御願書二相立候人教書付

持し上候事、

一勝連按司御室生年二付、右同断、

一勝連按司御室生年二付、右同断

持し上候事

一伊江按司御伯祖母御生年二付、宜寿次親方・

仲村親方相談を以、御願書二相立候人教書付

持し上候事

一 辰我親雲上岡村親雲上琉藏役高元里之子親雲上
名嘉地筑登之親雲上・宮古島在番筆者勝連里之子親雲上
五主屋比久筑登之餞別仕考候候、段々差支延引
罷成候事

一 廿日、後之家裏座之儀山近クあかり少ク、書物
披見手習など不罷成候付、平日座ニ相住居
候処、与風客人有之時々差支候而、裏座六疊敷
中之柱取除八疊ニ成候付、あかり宜敷好住居
所ニ相成候付、今日引移り候事、

一 廿日、仲村親方金武間切江旅結願、又ハ仲村里之子親雲上
旅之立願ニ罷越候付、左之通差遣候、

一 一國分多葉粉五把 一刻たはく五折

一 廿二日、高原親方御見廻御出被成候付、吸物・

三献・菓子上、御退城直御出被成候付、湯取むる

小平相付御馳走仕、緩々御嘶いたし候事、

一 留主之砌御出被成候ハ、別而残念ニ存候間、
御出被成思召共有之候ハ、相知せ度由、

次男知念里之子親雲上江相頼置候処、今日御退城
直御出被成筈之由、知念より相知せ候付、其用意

一 爲之^初御出被成思召共有之候ハ、相知せ度由、
次男知念里之子親雲上江相頼置候処、今日御退城
直御出被成筈之由、知念より相知せ候付、其用意

半中支しと西地元仕候事

一 靜下御断共仕候付、先年次男真壁里之子親雲上

儀三付、諸司代故浦添王子御咄之趣申上候事、

一 廿一日、三良事此ほと虫氣ニ有之、粟国煎薬共

相用候処、長々同篇ニ而何ぞ引分も無之候付、去ル

十二日、上原按司御煎薬四・五日相用候付、日増

快方ニ相見得候処、此内者食事進兼、其上

下シ有之候付、昨日按司御頼灸いたし、御煎薬も

被下候事、

一 脾よわく様相見得候付、わた卷相調、昼夜

相用候様申付、右調料錢五貫文くり候事、

一 虫氣相止不申様相見得候付、毎日反魂丹

相用候様、母江申付候事、

一 同日、三ら祖母故屋比久里之子親雲上妻昨日罷登申出

候者、三良病氣之儀、長々同篇ニ而何ぞ快方も

不相見得候間、一往泊江烈下り、那覇医者何かし

御頼養生仕度由申出候付、適親類中相談

ヲ以申出候由候へ者、難押止うたあ相付差下候事、

左下出候付、難押止うたあ相付差下候事、

一廿一日、去ル年御国元江飛舟被差登候久高島

之者共、昨日帰帆館内を被差下候諸書付、又者

在番親方始役々書状持下り候由、

一王子両御使者之筈候処、御国元御代替之

御使者江兼務被仰付候由、

一砂糖代者壹丁二五百貫文又者五百五拾貫文

為仕由、

一廿七日、上間親雲上見廻、王文治之筆懸物

一幅持参、慰ニも成可申与被相讓、誠ニ被入念儀

忝次第二候、

二月申

一朔日、悴親方御所帶方御物奉行江手替被仰付

候事、

一二日、昨日内間親雲上才府役被仰付候祝儀ニ罷出、

戻り懸上原按司御見廻、三良江使君子相用候

御相談申上、夫より下屋敷江罷越、暫やしき

中見分いたし、帰宅いたし候事、

座三立筈

一七日、此中雨遠有之候処、去月廿六七日比より

七

時々外霧か、り麦も相痛、別而念遣いたし
伊江親方は、昨日、夜咄招請いたし、七ツ頭時分

一日、夜ノ五ツ時分

野高按司加那志様御小産被成候由承知仕、驚入
奉存候、此節迄三度御小産被成、何様之儀ニ而
右通御座候哉、乍恐世話奉存候事、

但、被遊御懐たい八ヶ月程為被成御座由、

一日、上原按司御室罷出承候者、此内、新崎子、
借錢催促ニあつかり、借替ヲ以返弁いたし度折角

相働候へ共、いまたかり出不申、及世話候由申候、新崎筑登之親雲上
千貫文ほと入用候由候間、私室兩人ニ而錢千貫文
見次いたし度候間、右錢ニ而早々返弁いたし、余者

差延候而可然由申達候付、是者志之程忝次第
候へ共、何共可申様も無之病人申仕合候間、按司江も
御相談ヲ以申聞候由、

一日、親方宜野湾御殿惣大親被仰付候事、

八日、親方より左之人数夜咄招請いたし、七ツ頭時分

八日、親方より左之人数夜咄招請いたし、七ツ頭時分

御出候し八ツ過時分迄緩々被成御座候事

五村仁右衛門横め 萩野半右衛門附役 奥山藤太夫殿

山中十蔵殿書役 徳田市左衛門用達 長蔵殿

一本膳五ツ組二・式ツ組ノ料理・間之菓子・吸物、膳部

之通御馳走いたし候事、

去年為村文躍仕組重仕在雇羽をとり之

組躍一ツ仕させ、懸御目候事、

附、芸人数江者銭式百貫文、頭兩人江たはく差遣候事、

相伴池城親方・伊舍堂親雲上、見舞宮平親雲上、

筑登之親雲上・御兵具当我謝筑登之親雲上其外勝手見舞

高本里之子親雲上・豊見城里之子親雲上・帳主取上江洲里之子親雲上

被罷出候事、

一手渡上洪扇子二本・箒寒一束・箱入島紬一反ツ、

進覽いたし候事、

十一日、宜野湾王子様庭御見物被成候様兼而申上、

八ツ過時分御来駕被成、御緩々被成御座、夜之

七ツ時分御帰殿被成候事、

御出候し八ツ過時分迄緩々被成御座候事

五村仁右衛門横め 萩野半右衛門附役 奥山藤太夫殿

山中十蔵殿書役 徳田市左衛門用達 長蔵殿

一本膳五ツ組二・式ツ組ノ料理・間之菓子・吸物、膳部

之通御馳走いたし候事、

一 波平親方伊集親雲上御立被成候事、
 兼而御細御帶ニ而御來駕被下候様申上置候処、
 去七日親方御殿惣大親被仰付、今日御拝ニ而
 大帶ニ而御出被成候付、本座ニ而御吸物・三献
 差上、御取替仕候事、
 一 庭路次迄御見物被成、後座江御着被成候事、
 一 始而御吸物一ツ差上、蕎麦切差上候事、
 一 晩御本膳五ツ組・御手引一ツ・間之御菓子・
 御吸物、膳部之通差上候事、
 一 御菓子鶏^(卵カ)仰糕二甌被下候事、
 一 きやん夫婦御慰ニも可相成与、屋ニ入差上候処、
 御喜祝被成候事、
 一名護里之子親雲上・宇祢筑登之相頼、うた三味せん
 琴ひき御座興ニ相成候事、
 一 御出懸宜寿次江御入、庭御見物被成、御吸物
 二ツ差上候由、
 一 十三日、上原按司御事、去年新崎子^カ錢三千貫文
 御借入有之候処、年内^カ無抛入用有之由ニ而、嚴敷、
 一 十二日上原按司御事、去年新崎子^カ下^カの^カ上^カ
 御借入有之候年内^カ無抛入用有之由^カの^カ上^カ

御催促有之、御返錢御手当無之及御当迫二
 候段承、右借錢之儀悴江も口入相立候付、此方江も
 催促有之候付、私并室兩人ニ而千貫文ハ御加勢
 いたし候筋、御室江申達候趣有之、錢貳百貫文有合
 二付、伊集里之子ヲ以持上候処、厚心入之段ハ別而
 忝被思召候得共、此方江者先年以來折節ニハ段々
 御加勢有之、此さへ御報恩不被成、且新崎方江も
 一時ニ御返弁ニ不及、貳三百貫文ツ、漸々御返弁□
 候而相済候段有之、差当り及御世話儀者無之候間、
 此節之御加勢類ニ御断之由、御返答有之、折節
 御夫婦御子共御烈立、上之松原ニ御慰ニ御出之由
 承、私も下やしきニ罷越居候付、招上候付御室・御子共
 御召列御出被成、緩々御咄共いたし候事、
 一伊集里之子ヲ以持上候貳百貫文之儀、本文之次第
 二而御取納不被成候付、持帰る筈候処、適志ヲ以
 持上錢持帰候儀不本意儀ニ而、右錢五拾貫文
 新里里之子をなちやら、阿波根里之子をなちやら、真加戸
 真錢仁四人江相讓候付、按司御夫婦にて厚く

御催促有之、御返錢御手当無之及御当迫二
 候段承、右借錢之儀悴江も口入相立候付、此方江も
 催促有之候付、私并室兩人ニ而千貫文ハ御加勢
 いたし候筋、御室江申達候趣有之、錢貳百貫文有合
 二付、伊集里之子ヲ以持上候処、厚心入之段ハ別而
 忝被思召候得共、此方江者先年以來折節ニハ段々
 御加勢有之、此さへ御報恩不被成、且新崎方江も
 一時ニ御返弁ニ不及、貳三百貫文ツ、漸々御返弁□
 候而相済候段有之、差当り及御世話儀者無之候間、
 此節之御加勢類ニ御断之由、御返答有之、折節
 御夫婦御子共御烈立、上之松原ニ御慰ニ御出之由
 承、私も下やしきニ罷越居候付、招上候付御室・御子共
 御召列御出被成、緩々御咄共いたし候事、
 一伊集里之子ヲ以持上候貳百貫文之儀、本文之次第
 二而御取納不被成候付、持帰る筈候処、適志ヲ以
 持上錢持帰候儀不本意儀ニ而、右錢五拾貫文
 新里里之子をなちやら、阿波根里之子をなちやら、真加戸
 真錢仁四人江相讓候付、按司御夫婦にて厚く

重礼謝被仰候事

一とうふ十御持参有之、晩者糝取寄御馳走

一才府屋我親雲上・脇筆者岡村筑登之親雲上

一十四日、漂着唐人十七人護送船出帆いたし

候事、

一同日、夜之八ツ時分慶良間島安護之浦汐懸

いたし候由、

一十七日、夜之八ツ時分那覇御用意御蔵火事出、

宮古御蔵迄焼いたし候由、七ツ時分早打ニ親方

問合有之、苦々敷次第之事、

一米百石ほと・銭式千万ほと焼いたし候由、

是ハ都而前役人構之由候処、然与相分不申候、

一廿三日、撰政・三司官衆左之御用筋御奉行江

申上候様、倅江被仰含罷下り候事、

但、此御用筋者附役御取次茂不罷成筋之儀ニ而、

御奉行懸御目直ニ申上候様被仰付候由、

評価物之儀、御国元々被仰渡趣有之、手入方

評価物、御国元々被仰渡趣有之、手入方

御奉行懸御目直ニ申上候様被仰付候由、

評価物、御国元々被仰渡趣有之、手入方

今念那霸藏江格護仕置候處、今月十七日之夜
不意逢出火、都而及焼失申候、尤別紙之品々者
当春先島積出用先達而罷出、泊村之
引越手入方荷作等仕候付、最初御届申上候通
追々積出申筈御座候、焼失之品々者此節御国元江
御届可申上候間、此旨被聞召置可被下候、此段申上候様
撰政・三司官申付候、以上

二月廿三日

伊江親方

一廿五日、年々仕次之儀手元不罷居候付、延引罷成
不宜候付、森田筑登之江手元申付候事、

一廿七日、孫共兼養生として豊村親雲上相頼、灸
いたし候事、

一廿八日、佐久真里之子親雲上女子牛婚礼ニ付、左之通
持し相讓候事、

一私并悴より錢百貫文ツ、室々五拾貫文、真鶴
三拾貫文相讓候事、

一三月中

一朔日、此程早いたし、作毛之植付も時節後ニ可相成与、

一二月廿三日

在上等入以考初了大五子出し在候
二日午一周忌吊仕り申

廣徳寺陰涼長老御頼仕替に田舎江
蔵の法堂大辰長老御頼に
悟初又て法堂に沙人敷引冊也

同日朝給地御蔵庫理内火出及騒動候処
多人敷池集漸取消候由先日も御用意
及焼失、当分火用心も厳敷有之由候処、件之

次第不廻儀なる儀三思申候、
一御物穀拾俵ほとハ焼失之由、
一五日、佐久真里之子親雲上申出候者、宜寿次親方在番之時
町人共借銭返済之儀、去夏砂糖罷登、知念
親方与力多嘉山里之子親雲上江相頼置候処、本利共返済
相済、証文取帰一昨便相届候由、首尾承頂上
之儀三存候、

一 穎川十左衛門江

和目八百貫文

一 柳屋

和目三百貫文

十一日、三男前川里之子女子誕生、富盛親雲上

穎川十左衛門
和目八百貫文

柳屋
和目三百貫文

福子誕生、大山親雲上地頭頂戴ニ付祝儀ニ罷通、
戻り懸ニ内間親雲上見舞いたし候事、

十二日、今日吉日ニ而孫樽二十四孝讀書させ候事、
祝儀而茶々請出寄合給候事、

同日、孫山戸さら立、於宜寿上下やしき中相揃
祝候事、

一私悻兩人ニ而さうみん七斤差遣候事、
一室・真鶴兩人ニ而同三斤差遣候事、
一料理さうみん吸物馳走有之候事、
一私より山戸江扇子一本・はな紙一折□□□□
紙縮緬帯一筋くり候事、

但、次良を持懸之はな紙袋一ツ相讓候事、
一十六日、清明之節ニ而石嶺江罷越、此方宜寿次、
惣慶御墓所御焼香仕候事、
一伊集里之子孫次良相烈候事、

屋江立寄候付、瀬底をさうみん吸物馳走
有之候事、

一墓之上いまた木茂り不申、且家見分

予、これに、小者、大破、大風、
予、これに、小者、大破、大風、

考事

一廿五日、御奉行洪谷喜三右衛門殿御乗船
御入津被成候事

一同日、大嶺親方乗船入津
一同晩

上様方御側御遣高嶺里之子御使ヲ以美御機被成下、
且、御意被成下候者、蒲戸事早々元服

不申候付、追々木遣仕組方又者御書院
御小姓共被仰付候ハ、不得障稽古物□為ニも
差遣可申候間、此節元服被仰付、先様御書院
二才御小姓被仰付可宜与被、思召上候、私共江□
何様相考候哉与奉承知候事、

一親方不罷居候ハ、私江可相達由被仰下候由、親方
江者大宜見親方土産開之由ニ而被相招、居合
不申候付、私罷出奉承知候事、

一右三付御返詞奉申上趣ハ、美御機被下

いたし候処、殊之外相古ミ大破ニ罷成大風□□

二者別而念遣相見得候付、急度相談□

相考候事、

一廿五日、御奉行洪谷喜三右衛門殿御乗船

御入津被成候事、

一同日、大嶺親方乗船入津、

一同晩

上様方御側御遣高嶺里之子御使ヲ以美御機被成下、

且、御意被成下候者、蒲戸事早々元服

不被仰付候而者、追々木遣仕組方又者御書院

御小姓共被仰付候ハ、不得障稽古物□為ニも

差遣可申候間、此節元服被仰付、先様御書院

二才御小姓被仰付可宜与被、思召上候、私共江□

何様相考候哉与奉承知候事、

一親方不罷居候ハ、私江可相達由被仰下候由、親方

江者大宜見親方土産開之由ニ而被相招、居合

不申候付、私罷出奉承知候事、

一右三付御返詞奉申上趣ハ、美御機被下

蒲戸儀ニ付而御意之趣委細奉承知、難有
 次第奉存候、蒲戸事年比二者程来不□
 相見得、当分之様子ニ而者十六・七迄童子
 御小姓共相勤候而者、見分も不宜筈候間、早々
 元服被仰付、二才御小姓奉願方可然□^(候カ)
 いつれも申事候へ共、当分之勤二候へ者、何分ニも
 思召次第不奉畏候而不叶儀与奉存候処、
 御意之趣いつれも難有奉存候間、弥思召
 之□被仰付度奉願候段、何分ニも宜被仰上□
 申上候事、
 親方罷帰次第 御意之趣拝聞させ、明日者
 参上ヲ以右御拝申上、頭慶世村親雲上江も
 右一件彼是相談いたし候様申付筈之由、
 高嶺江相達置候事、
 一廿七日、蒲戸事 御意之趣有之於崎山御殿ニ
 御内々々元服被仰付、難有次第奉存候、依之
 上下屋敷中相揃祝申候事、
 一仲村思次良・沢岬真山戸も一同元服被仰付候、

申上候事
 親方所取次第 御意之趣拝聞させ、明日者
 参上ヲ以右御拝申上、頭慶世村親雲上江も
 右一件彼是相談いたし候様申付筈之由、
 高嶺江相達置候事、
 一廿七日、蒲戸事 御意之趣有之於崎山御殿ニ
 御内々々元服被仰付、難有次第奉存候、依之
 上下屋敷中相揃祝申候事、
 一仲村思次良・沢岬真山戸も一同元服被仰付候、

云々六月三日長門守に申上候仕事

一 昼間ハいつれも仲村江罷出相祝、さうみん

吸物馳走有之候事、

一 晩者いつれも此方江罷出相祝、軽キ夜めし

馳走いたし候事、

一 夜入候而蒲戸崎山御殿を暫御暇乞二而罷出、

仲村次らも追々罷出、兩人共様子も宜

相見得、いつれも大慶不斜候事、

一 三人共銀之簪被成下、重畳難有次第

奉存候事、

但、十分銀二而打調方被仰付候由、

四月中

一 六日、古御奉行小笠原六郎殿を、親方・筑登之親雲上

御招ニ付致参上、段々御馳走共有之、夜之九ツ

前罷帰候事、

一 御手渡扇子一箱・何布一反被下候事、

一 御招之人数小祿親方・奥平親方・玉城

親方・伊江親方・里主東風平親雲上

被成下候段言上承知仕、難有次第奉存候事

一四日、童子共波龍舟見物ニ罷下り候事

一我如古筑登之屋敷ニ棧敷相構候事、

一同人江屋敷借いたし候礼、例之通はなふうろ、

松風之菓子差遣候事、

一左之人数江例之通錢三貫文完くり候事、

孫かめ・次良・樽・山戸・宜寿次ノ真加戸・前川里之子親雲上

女子牛・鶴・かま戸あん子かま江も、例之通錢

式貫文ツ、くり候事、

一蒲戸も罷下り候付、馬者拝領之如矢・馬具者

拝借ニ而相濟、昼休も供之者共迄被成下候、段々

難有次第奉存候事、

一十五日、蒲戸元服若里之子御位被成下、御拝相勤祝申候事、

上様 佐敷按司加那志様 野嵩按司加那志様御二

御式ツ組赤飯之御料理・御菓子かす寺・

まさらかん之御菓子献上仕候事、

一美御前之あや前・佐敷御殿御乳母高宮城

あや前・野嵩御殿御乳母嶺大むしられ招上

一 蒲戸元服若里之子御位被成下、御拝相勤祝申候事、
一 難有次第奉存候事、
一 十五日、蒲戸元服若里之子御位被成下、御拝相勤祝申候事、
上様 佐敷按司加那志様 野嵩按司加那志様御二
御式ツ組赤飯之御料理・御菓子かす寺・
まさらかん之御菓子献上仕候事、
一 美御前之あや前・佐敷御殿御乳母高宮城
あや前・野嵩御殿御乳母嶺大むしられ招上

美御前三人共御暇乞ニ而御出無之候付、料理
差上候事

但、美御前あや前の焼酎一瓶、佐敷御殿
野嵩御殿御乳母の鯉節二連被下

候事

一女性衆御使ヲ以

上様より黄むしかう三瓶くしう、佐敷御殿の

江戸高麗二くしき、野嵩御殿の藤

むしかう二くしきの拝領被仰付候事、

一御三所様より御銘々女性衆御使ヲ以

御機被成下、蒲戸江御玉貫一双完被成下、

重畳難有次第奉存候事、

一御近習・御側遣・御同学衆おとり一同相勤、取分

丁嚙ニ相交候方相招、座敷狭有之候付、一門

親類衆其段御事分ヲ以料理差上候事、

但、送膳者三十ヶ所ほと差遣候事、

一方々到来物段々有之候処、別冊ニ相記候故
略す、

一 御三所様より御銘々女性衆御使ヲ以
御機被成下、蒲戸江御玉貫一双完被成下、
重畳難有次第奉存候事、
一 御近習・御側遣・御同学衆おとり一同相勤、取分
丁嚙（近習）ニ相交候方相招、座敷狭有之候付、一門、
親類衆（親類）其段御事分（御事分）ヲ以料理差上候事、
但、送膳者三十ヶ所ほと差遣候事、
一方々到来物段々有之候処、別冊ニ相記候故
略す、

伊江しまる祝儀、さはくり供之者共罷登

到來物左之通、

一酒代錢五拾貫文

一ふた一疋

一塩ふた半疋

一式拾四斤

一一生ふた十斤完

一守役足知念にやる同人江

一一同十斤

一十七日、伊江しま未進穀代下之訟相濟候付、

島中ふた半疋到來、

一十八日、名嘉地乘船春楫船・嵩元里之子親雲上乘船春運漕出帆、

一廿日、外間筑登之親雲上乘船馬艦出帆、

一廿一日、渡唐船三艘入津、

内倉艘佐渡山親方御乘船・一艘屋我親雲上

岡村筑登之親雲上乘船・一艘奥川親雲上・天願里之子親雲上

小橋川筑登之親雲上乘船

一琉藏役和宇慶里之子親雲上乘船春楫船之儀、唐

之内山東江漂着、此船帰帆、

但、於山東二官人衆御差図之趣有之、本船

低於山東、官人充てり、

十分銀拾五貫め・黒砂糖拾貫ほと二而
賣扱し、高直三而御益筋ニ相成候由、

山東江滞在中御賄等結構ニ有之、惣人数江
皮衣裳一領完・わた入衣裳一領ツ、被成下、段々

難有御取扱御座候由、

謝恩御使者屋富祖親方事、滞在内
病氣被差発、唐出帆以後漸々重相成、

十九日久米島近く返船之時分被致死去候由、
笑止之致候、乍然翌々日二者入津被致、身体等ハ

常之返為有之由、此上之幸家中も
安心被致候半与相察申候、

六月申

一 首年改行後云高直親方乘船出帆
二 三日、御奉行小笠原彦六郎殿御乗船・本部

王子御乗船御出帆、
但、大親湧川親方・附役本部里之子親雲上、

同日、上原按司御家内人数并新里里主夫婦
女子、疹御免り之為間切江御越被成候付、御見送と

女子、疹御免り之為間切江御越被成候付、御見送と

十分銀拾五貫め・黒砂糖拾貫ほと二而
売扱いたし、高直三而御益筋ニ相成候由、
一 山東江滞在中御賄等結構ニ有之、惣人数江
皮衣裳一領完・わた入衣裳一領ツ、被成下、段々
難有御取扱御座候由、
一 謝恩御使者屋富祖親方事、滞在内
病氣被差発、唐出帆以後漸々重相成、
十九日久米島近く返船之時分被致死去候由、
笑止之致候、乍然翌々日二者入津被致、身体等ハ
常之返為有之由、此上之幸家中も
安心被致候半与相察申候、
六月申
一 二日、年頭御使者当間親方乗船出帆、
一 三日、御奉行小笠原彦六郎殿御乗船・本部
王子御乗船御出帆、
但、大親湧川親方・附役本部里之子親雲上、
一 同日、上原按司御家内人数并新里里主夫婦
女子、疹御免り之為間切江御越被成候付、御見送と

早朝弁之嶽江罷出、五ツ時分御返懸拜殿江御入
被成候付、暫御咄御取替共いたし、御出立被成候付、
下屋敷江罷越相慰候事、

一宜寿次親方・仲村親方始上下やしる中
女子内間・前川・富盛も罷出候事、

一銘々茶請菓子・唐いもなど持参有之候事、
一昼間者私・悴兩人ニ而まんと汁菜相付馳走
いたし、晩者銘々糝取寄候事、

但、室并まつる茶請一重ツ、差出候事、

一錢御藏大屋子真境名筑登之親雲上、扶持之初
としてまんと一茶具器、猶子使ヲ以到来ニ付
能折柄ニ而いづれも馳走いたし候事、

一五男前川里之子親雲上・護得久里之子・泊之有銘筑登之
在合ニ而、うた三味線琴などいたさせ、慰ニ
相成候事、

一六日、羽地王子御乗船出帆、
但、大親幸地親方・附役真壁里之子親雲上、

一八日、勝連按司御事此程長々之御病氣ニ而候処、

一八日勝連按司御事此程長々之御病氣ニ而候処、

内中御熱御差発、御食事も御進兼、煮拔共
 少々被召上由承、今体三而ハ別而御念遣之御事
 二而、今日観音堂・弁才天堂・円覚寺
 御宝前・弁之嶽二御伊扁之御前御立願、私直ニ
 致参拝、私宅江罷帰り昼休共末々迄馳走いたし、み
 はな御仏餉御而御殿江持参、按司御頂被成候事、
 一御願人数、私夫婦・宜寿次親方夫婦・悴親方・前川
 里之子親雲上夫婦・蒲戸也、
 但、まつるも御願書ニ相立可申之処、忌中ニ而
 相立不申候、
 一御殿より御吸物・御三献・御菓子・御茶御馳走
 有之、供之者共迄吸物・茶共御馳走被下候由、
 一九日、親方事昨日仕上シ勤ニ付那覇江罷下候付、
 私夫婦・まつる三人ニ而、饒別之心入ヲ以手引一ツ
 之料理馳走いたし候事、
 一宜寿次親方夫婦・仲村親方夫婦・妹むたしや・
 仲村里之子親雲上内儀も相招、緩々物かたり共いたし、
 同前之料理馳走いたし候事、

内中御熱御差発、御食事も御進兼、煮拔共
 少々被召上由承、今体三而ハ別而御念遣之御事
 二而、今日観音堂・弁才天堂・円覚寺
 御宝前・弁之嶽二御伊扁之御前御立願、私直ニ
 致参拝、私宅江罷帰り昼休共末々迄馳走いたし、み
 はな御仏餉御而御殿江持参、按司御頂被成候事、
 一御願人数、私夫婦・宜寿次親方夫婦・悴親方・前川
 里之子親雲上夫婦・蒲戸也、
 但、まつるも御願書ニ相立可申之処、忌中ニ而
 相立不申候、
 一御殿より御吸物・御三献・御菓子・御茶御馳走
 有之、供之者共迄吸物・茶共御馳走被下候由、
 一九日、親方事昨日仕上シ勤ニ付那覇江罷下候付、
 私夫婦・まつる三人ニ而、饒別之心入ヲ以手引一ツ
 之料理馳走いたし候事、
 一宜寿次親方夫婦・仲村親方夫婦・妹むたしや・
 仲村里之子親雲上内儀も相招、緩々物かたり共いたし、
 同前之料理馳走いたし候事、

此程親子申談之通、宜寿次・仲村江借渡
 寄替錢及重高候処、兩所共当分不如意之体
 二而、近年中返弁之術不相見得、長々此俣二而
 召置候而者、到後年何様之故障類出来可
 申哉、念遣之儀二而、所存之程別冊之返書付
 相調、此節帳留消除証文相備可申由相達、
 書付入披見候処、無存懸過分之錢高、厚
 心入之段何共難申謝忝由被申候、
 一翌日、十日右為礼宜寿次親方仲親方色
 衣裳二而被罷出、厚礼謝承候事、
 一廿日、孫次良七ひたり衣裳仕立三付、上下屋
 敷中其外内間・富盛・豊見城など罷出、諸事
 吉例之通相濟候事、
 一朝めし二汁一菜、昼間糝・晩二汁一菜之料理
 馳走いたし候事、
 一罷出候人数銘々とうふなと持参有之候事、
 一庫理方々ハ入料出不申付、私より錢三拾貫文、室より
 式拾貫文差遣候事、

夜着る禮と申す厚礼謝承候事
 廿日孫次良七ひたり衣裳仕立三付上下屋
 敷中其外内間富盛豊見城など罷出諸事
 吉例之通相濟候事
 朝めし二汁一菜昼間糝晩二汁一菜料理
 馳走いたし候事
 罷出候人数銘々とうふなと持参有之候事
 庫理方々ハ入料出不申付私より錢三拾貫文
 式拾貫文差遣候事

名良あん母之書
持参有之候事

一人祖母より酒代叔父新垣筑登之親雲上妻
酒代河内守より持参有之候事

但、ます子樽・次良あん男子かま江和扇子
一本完くり候事

廿八日、親方於旅宿ニ御奉行渋谷喜三左衛門・
横目衆・附々衆招請、万端御取持方被致所、
緩々被成下者夜之八ツ時分被成御帰候事、

御相伴里主・御物城、御見廻大和横目・
御兵具当相頼候事、

一御料理御本膳四ツ組御二・三ツ組・間之御菓子
二・其外御吸物・御取肴等御膳部之通也、

一当蔵村此間仕組置候をとり狂言、人数召寄
芸能させ懸御目、別而御慰ニ相成候事、

一御奉行江花活一・紺地細上布一反、役々衆江唐
扇子一箱あげ進上仕候事、反布八本紙虫入二付何布与不相記

包丁石川□親雲上相頼候事、

五丁石川□親雲上相頼候事、

反布八本紙虫入二付何布与不相記

- 一次良あん母・宮里筑登之親雲上妻、酒代・まんてう持参有之候事、
- 一人祖母より酒代、叔父新垣筑登之親雲上妻ますら酒代・まんとう持参有之候事、
- 但、ます子樽・次良あん男子かま江和扇子一本完くり候事、
- 廿八日、親方於旅宿ニ御奉行渋谷喜三左衛門・横目衆・附々衆招請、万端御取持方被致所、緩々被成下者夜之八ツ時分被成御帰候事、
- 御相伴里主・御物城、御見廻大和横目・御兵具当相頼候事、
- 一御料理御本膳四ツ組御二・三ツ組・間之御菓子
- 二・其外御吸物・御取肴等御膳部之通也、
- 一当蔵村此間仕組置候をとり狂言、人数召寄芸能させ懸御目、別而御慰ニ相成候事、
- 一御奉行江花活一・紺地細上布一反、役々衆江唐扇子一箱あげ進上仕候事、反布八本紙虫入二付何布与不相記
- 包丁石川□親雲上相頼候事、

七月申

百道之疹相もやりし由承候事と申
仕候事

但委細候者疹日記ニ相記候故略す

一 孫傳二月十一日申孝讀書相始させ候処
今日読終候付、例之通まんと取寄いづれも
馳走いたし、宜寿次・仲村江も差遣候事、
但、童子共江者疹前ニ而甘物禁止故、あんなし
まんとう取寄くり候事、

一 十一日田地大屋子玉元里之子親雲上嫡子玉元子相烈
被罷出、嫡子事別而不功ニ有之、彼是為見馴
今日より親方江も案内ヲ以奉公相勤させ候間、万端
教訓いたし度由、頼承候事、

一 同日、知花親方被罷出承候者、勝連按司御病氣
之儀長々御同篇ニ而、森浜筑登之親雲上も此比不出精
之体候間、一往泊村金城筑登之親雲上相頼申相談ニ而、
金城相頼、先日被罷出御様子委細被承、
御痛所も見分被致候処、此様之御病症者いまた

一 同日、知花親方被罷出承候者、勝連按司御病氣
之儀長々御同篇ニ而、森浜筑登之親雲上も此比不出精
之体候間、一往泊村金城筑登之親雲上相頼申相談ニ而、
金城相頼、先日被罷出御様子委細被承、
御痛所も見分被致候処、此様之御病症者いまた

七月申

二 二日、近々疹相はやり之由承、今日吉日ニ而立願
仕候事、

但、委細之儀者疹日記ニ相記候故略す、

一 六日、孫傳三月十一日申二十四孝讀書相始させ候処、
今日読終候付、例之通まんと取寄いづれも
馳走いたし、宜寿次・仲村江も差遣候事、
但、童子共江者疹前ニ而甘物禁止故、あんなし
まんとう取寄くり候事、

まんとう取寄くり候事、

一 十一日、田地大屋子玉元里之子親雲上嫡子玉元子相烈
被罷出、嫡子事別而不功ニ有之、彼是為見馴
今日より親方江も案内ヲ以奉公相勤させ候間、万端
教訓いたし度由、頼承候事、

一 同日、知花親方被罷出承候者、勝連按司御病氣
之儀長々御同篇ニ而、森浜筑登之親雲上も此比不出精
之体候間、一往泊村金城筑登之親雲上相頼申相談ニ而、
金城相頼、先日被罷出御様子委細被承、
御痛所も見分被致候処、此様之御病症者いまた

一 同日、知花親方被罷出承候者、勝連按司御病氣
之儀長々御同篇ニ而、森浜筑登之親雲上も此比不出精
之体候間、一往泊村金城筑登之親雲上相頼申相談ニ而、
金城相頼、先日被罷出御様子委細被承、
御痛所も見分被致候処、此様之御病症者いまた

御痛所も見分被致候処、此様之御病症者いまた

見当不申、諸書物共見合不申者何分ニモ
 難申上由被申、罷歸候付、其以後度々相招候処、
 此ほと諸書物見合候処、いまた此様之御病症
 見当不申、自分考迄ニ而者御療治方不罷成
 候間、最前之医者衆御頼被成方可然候、自分二者
 御断之由申出候付、按司江も別而御氣毒□□召候
 いづれも相談いたし候処、此上者無是非事候間、
 猶々森浜頼入候方可然与相決、森浜江段々
 厚頼入候付、心力之程随分相考御療治方相働
 可申由被申候由、

一親方江申候者、按司御事此内者御食事・御氣分
 宜御通被成候処、瘡いまた相治不申由承候、
 以前も申候通、疹毒いまた拔不申所より右通
 相治不申筈候間、此上者内外より毒氣
 拔去り候様無之候而不叶筈候間、先一往羊
 など御用被成可然存候、然ながら森浜江も
 同意之上ならハ強而進上候而可然候間、
 親方所存之筋ヲ以森浜江相談被致度由

見当不申、諸書物共見合不申者何分ニモ
 難申上由被申、罷歸候付、其以後度々相招候処、
 此ほと諸書物見合候処、いまた此様之御病症
 見当不申、自分考迄ニ而者御療治方不罷成
 候間、最前之医者衆御頼被成方可然候、自分二者
 御断之由申出候付、按司江も別而御氣毒□□召候
 いづれも相談いたし候処、此上者無是非事候間、
 猶々森浜頼入候方可然与相決、森浜江段々
 厚頼入候付、心力之程随分相考御療治方相働
 可申由被申候由、

申候付、弥森浜江相談被致由被相答候事、

一麻疹之時左之通差遣候事、

私・親方兩人三而
一楠壳重
惣慶子

私夫婦二而
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

申候付、弥森浜江相談被致由被相答候事、

一麻疹之時左之通差遣候事、

私・親方兩人三而
一楠壳重
惣慶子

私夫婦二而
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

私
一冬瓜二粒
西平

但、三男阿波根里之子親雲上内儀江一通、四男阿波根

私親方三而
一冬瓜一ツ
一錢貳拾貫文ツ、
兼ヶ段里之子夫婦
一通
真志喜

私親方三而
一錢貳拾貫文ツ、
瀬底里之子
喜久里里之子
室ヶ米貳升
伊集里之子

私
一たす一重ツ、
柴田里之子
内儀
喜如嘉家内
屋部里之子親雲上家内
候事

但、供之者孫乳母共いり米五合完くり

候事

同日、知花親方被罷出承候者、今日森浜筑登之親雲上
御殿江被罷出、按司御丸藥本人參老勿・洋參五分相加、
調合被致候由、

一うはい物相談いたし候処、是ハ御病氣ニ甚

差障り候間、無用可仕由被申候由、

一廿二日、宜寿次亡父様正御月忌三付、左之通
差上御焼香仕候事、

一御茶一包怡山院清明
一御菓子一重

一御茶一包怡山院清明
一御菓子一重

一まんたう一重

□日夜入時分る甚黄之間二而大風吹出、大雨ふり候付、風構共申付候事、
一廿六日、倅親方伊江御殿江疹御見廻二罷出

私行跡之儀至而感心いたし候由、奥平方

私行跡之儀至而感心いたし候由、奥平方

被申候由、倅承候事、

但、奥平咄者余り能過申候故、遠慮

不相記候、

一同日、去月廿日る伊江按司疹御煩被成候付、

御安否御尋申上、左之通差上候事、

□日迄大風雨
一たす壺重八寸
一いり米壺重八寸

一廿七日、祖母様正御月忌三付、例之通御料理差上御焼香仕候事、

一廿八日、宜寿次龜事、四五月比より夏まけ之

様二相見得、色合あしく少々やし候処、

当月十一日之夜より疹相催シ、輕相仕舞

候得共いまた色合あしく、根氣不足之様

相見得候付、今日宜寿次親方・妹むたしや

相招申談候者、龜事輕キ風氣共二而候ハ、何ぞ

念遣之儀無之候得共、龜事やし候而色合様子も

一昨日去月廿日る伊江按司疹御煩被成候付、

一廿七日、祖母様正御月忌三付、例之通御料理差上御焼香仕候事、

一廿八日、宜寿次龜事、四五月比より夏まけ之

様二相見得、色合あしく少々やし候処、

当月十一日之夜より疹相催シ、輕相仕舞

候得共いまた色合あしく、根氣不足之様

宜子虫事、之有、或も、
勿く、入念、不申候、
申候事、

一 醫者ハ森浜筑登之親雲上相頼候而ハ何様候哉与
申候付、私も同意之由相答候事、
一 歟いりく者補二も宜、虫も殺せ候由、本草ニ相見得
功能宜ニ付、相用候而可然哉、森浜江相尋候様
相達候事、

一 かわつハ虫氣ニ名葉之由候間、是又右
同断、

一 使君子右同断、
一 卅日、森浜筑登之親雲上宜寿次江被罷出、亀見被申
候処、何そ虫氣も無之、疹後二者やし候而下シも
有之、念遣之儀無之由ニ而、煎薬式袋調合
被相渡候由、
八月申

一 八日、知花親方被罷出承候者、勝連按司御痛所

- 一 宜子虫事可有之哉念遣ニ存候間、不申
- 一 不申
- 一 尤之儀ニ候間、急度いしや相催見せ可申由、
- 一 被申候事、
- 一 一医者ハ森浜筑登之親雲上相頼候而ハ何様候哉与
- 一 申候付、私も同意之由相答候事、
- 一 一歟いりく者補ニも宜、虫も殺せ候由、本草ニ相見得
- 一 功能宜ニ付、相用候而可然哉、森浜江相尋候様
- 一 相達候事、
- 一 一かわつハ虫氣ニ名葉之由候間、是又右
- 一 同断、
- 一 一使君子右同断、
- 一 一卅日、森浜筑登之親雲上宜寿次江被罷出、亀見被申
- 一 候処、何そ虫氣も無之、疹後二者やし候而下シも
- 一 有之、念遣之儀無之由ニ而、煎薬式袋調合
- 一 被相渡候由、
- 一 八月申
- 一 一八日、知花親方被罷出承候者、勝連按司御痛所

候に程森浜筑登之親雲上心力之程被相働候得共、
 御快無之漸々内江くき入、至極御難儀之
 御事候処、那覇仲島上之辺江相住居候玉城
 筑登之親雲上与申者、右様之疾祖父代より家伝
 有之、功者之由承、去月廿五日右玉城相頼
 御瘡之様子見分いたし候処、早々見立候ハ、
 療治もいたし易候処、是程及難療候付而ハ、
 療治之詮相立候共無覚束候へ共、先精力之程
 相働可申由請合、くすり調合引葉いたし候付、
 夫より大分湿発出、今日玉城罷出御瘡見分
 致候処、余ほと毒氣抜候様相見得、五分ほと
 □肉いたし、玉もふとく罷成候処、しまり
 候而細く罷成、最早御全快無別条、療治
 之詮相立候由三而、玉城大に祝ひいつれも御大慶
 不斜由承知いたし、此程医者衆段々吟味之上
 被相働候得共、其詮無之候処、寄持成儀
 目出度御儀、此方江も御同然祝ひ申候事、
 一私江も此ほと世話いたし候間、

又、大に毒發候も、玉城大に祝ひいつれも御大慶
 不斜由承知いたし、此程医者衆段々吟味之上
 被相働候得共、其詮無之候処、寄持成儀
 目出度御儀、此方江も御同然祝ひ申候事、
 一私江も此ほと世話いたし候間、

大儀なから親方此方江も被罷出、私江委細被相達
度由、真松申候付被罷出候由、

九月、右御祝儀又者麻疹見廻御殿江参上、
暫御咄共申上罷歸候事、

一 按司様江北源御茶一包・甘物外桔餅一重差上
候事、

一 御子共江いり米一重・黒胡麻一重くり候事、

一 十三日、此ほと雨遠有之候処、四ツ時分より時迄
大雨ふり、世上悦申候事、

一 十六日、小学序より熟覽いたし候事、

一 麻疹日記者別冊ニ相記候事、

一 十九日、室事平日不食之上、此比ハ服合
不宜、少々厚味之物給候得者、則下シ候付、

猶々食事少々罷成、日ニ壹合ほと給、右体ニ而ハ
漸々根氣も相衰可申積ニ而、今日仲村渠

筑登之親雲上相招論脈被致、煎薬式袋被給
候事、

一 山戸あん事、疹以後相草臥、八月十九日、此方江

白濁のり、麻疹後、室事平日不食之上、此比ハ服合
不宜、少々厚味之物給候得者、則下シ候付、

猶々食事少々罷成、日ニ壹合ほと給、右体ニ而ハ
漸々根氣も相衰可申積ニ而、今日仲村渠
筑登之親雲上相招論脈被致、煎薬式袋被給
候事、

引越段々養生いたし全快、九月十五日

引越段々養生いたし全快、九月十五日
宜寿次江引移候事、

一廿三日、痢病相催候付、栗国里之子相招
服薬させ候処、同日昼時分る者病氣大切

罷成、いづれも驚入段々養生いたし候付、

快相成候事、

一廿日、喜屋武親方御病氣ニ付、伊集里之子ヲ以御安否
御尋申上候処、此内漸々御快被成御座候由、

御返答承候事、

一廿一日、安谷屋親雲上妻夜之八ツ時分女子誕生
いたし、親子共安全之由申来、大慶不斜候事、

一当年六月より来年迄之小賦、去月末比

池原筑登之親雲上差出候付、私再へん見届、廿八日
親方江相調部候様相達、小賦帳相渡候事、

一先比喜久里里之子を差出候方々、借渡帳増減有之
候付、添消いたし差出可申由、池原江相渡候へ者、

同日晩添消いたし差出候事、

一廿九日、室事不断下シ有之食事不相進、孫
次良も虫氣ニ有之候付、此内使君子相用

候付、次良之虫下計り出候得共、いまた

一廿九日、室事不断下シ有之食事不相進、孫
次良も虫氣ニ有之候付、此内使君子相用
候付、次良之虫下計り出候得共、いまた

一廿九日、室事不断下シ有之食事不相進、孫
次良も虫氣ニ有之候付、此内使君子相用
候付、次良之虫下計り出候得共、いまた

一廿三日、痢病相催候付、栗国里之子相招
服薬させ候処、同日昼時分る者病氣大切
罷成、いづれも驚入段々養生いたし候付、
快相成候事、

食事不相進候付、内間親雲上妻相招灸させ候事、

一廿六日、宮古島松原首里之大屋子之德里里之子親雲上ニ付而、愚筆望之由承候事、

但、正月懸物一幅・其外一幅望之由、
九月中

一三日、勝連按司御室子共麻疹首尾能相仕廻候付、皆共相烈始而見舞罷出、いつれも大慶不斜候事、

但、若按司江者和扇子壹本ツ、相讓候事、
一真加戸・真つる・真牛江、私夫婦ニ而錢貳貫文ツ、
相讓候事、

一四日、伊集里之子ヲ以喜屋武親方御安否御尋申上、
生鯛二喉持シ上候事、

一十日、疹以後虫氣有之食事進兼、保養方入念不申候而不叶事候処、乳母并足守役沢岬

にやも諸用多隙無之、食事彼は見計得届兼候付、故うし乳母江加勢申付、食事進方又者

禁物慎方彼是入念候様申付、私・親方兩人ニ而錢貳拾貫文くり候事、

一十二日、照屋前首里大屋子江、福祿寿之字ニ歌一首書調相讓候事、

和着持りて、私病をそなへ、お後い事
あつとあつと、真牛江、私夫婦ニ而錢貳貫文ツ、
お後い事
十日、疹以後虫氣有之食事進兼、保養方
入念不申候而不叶事候処、乳母并足守役沢岬
にやも諸用多隙無之、食事彼は見計得届兼候付、
故うし乳母江加勢申付、食事進方又者
禁物慎方彼是入念候様申付、私・親方兩人
ニ而錢貳拾貫文くり候事、
一十二日、照屋前首里大屋子江、福祿寿之字ニ歌
一首書調相讓候事、

一 同日、宮古島伊良部首里大屋子と垣花親雲上
 二 付而、愚筆寿之字一幅懇望之由□□ハ
 出帆無余日候間、春便々差遣度由無摺承
 候付、愈書調進可申由約束いたし候事、
 一 十五日、瀬底里之子兄弟江左之通申渡候事、
 一 御墓之儀者、随分諸木茂不申候而ハ風水之為
 不宜候間、宜寿次御墓後之様諸木植茂候様
 可相働旨、此間度々申付候処、為何首尾も無之、
 出精之体不相見得、如何之事、
 一 請地境之儀ハ随分正敷無之候而不叶事二而、先年ハ
 折々蘇鉄なと植付首尾申出候処、此比者
 無其儀如何之事、
 一 大風之時者、翌日御墓破所無之候哉、其外方々
 見廻り水損又者諸木折倒等有無之段、
 首尾可申出候処、無其儀如何之事、
 一 先年者春秋之時分、浦添辺々小松二三拾本
 買入、御墓所江場所見合植付首尾有之候処、
 無其儀如何之事、
 一 唐金竹・こさん唐竹之類ハ家中入用之物
 二而、場所見合植付候ハ、重宝ニ相成候処、右様
 之氣前も無之如何之事、

九月廿一日 山も、松呂杯植付方、右断

右之通大概存寄二付申達候、汀志良次屋敷
番人八段々存寄得差図候儀共多々有之
候処、其方江者為何所存も無之如何候間、右
ヶ条之外も申談、存寄之程可申出候、以上、

九月十五日 伊江親方

瀬底里之子 瀬底里之子

一十二日、四男前川子はしか相催、昨日迄七日ニ
罷成候処、然与発散不致候付、鶏相用候而可然哉、
伊集里之子ヲ以与那城按司江習上候処、世上も
都而相用候由被聞召、御殿江も十六人疹出皆々
前後共相用候処宜敷有之候間、腹之つかい共
無之方者相用可然被思召由、御返調承候付
右通被仰聞候間、早々相用可申由差遣候事、
同日、下やしきニ差越、安谷屋・前川見廻いたし
候事、

一孫共相烈罷越、多人数ニ而候処、安谷屋
昼めし馳走、前川より茶請共相調差出候事、
一千餅十五枚持参童子共江くり、安谷屋内儀
前川内儀江錢拾貫文ツ、相讓候事、
一十七日、兼村にや休式之勤申付候事、
但、四ツ時分る酉時分迄隙ニ而候間、此方諸用も

一孫共相烈罷越、多人数ニ而候処、安谷屋
昼めし馳走、前川より茶請共相調差出候事、
一千餅十五枚持参童子共江くり、安谷屋内儀
前川内儀江錢拾貫文ツ、相讓候事、
一十七日、兼村にや休式之勤申付候事、
但、四ツ時分る酉時分迄隙ニ而候間、此方諸用も

懸而相勤候様申付候、

十八日、吉日ニ而孫次良樽江読書させ候事、

但、次良者三字経中不編之所、樽者同本初

読せ候事、

廿日、喜久里里之子去十一日那覇江罷下、糸満むら仕明

買入代、同村江小舟を積廻、夫より糸満村江

差越、代錢付届証文等請取、彼是相仕廻、今日

罷帰候由首尾承候事、

廿一日、秘藏之小犬被盜取候哉、夜前も不相見得、

随分探東いたし候様、こおり役豊本にや江申付候事、

廿二日、宜寿次龜読書出精之段承、為褒美

百田紙一帖相讓候事、

但、山戸も罷出候付、真似合紙ニ寿之字書調

くり候事、

同日、伊集里之子親雲上相招申達候者、此間宜野湾

王子様より今川越中之守仰出之書付書調方

御頼有之候処、右文本字ニ而余ほと仕組方

不仕候而不叶候間、家道訓ニ相見得候陰徳之文、是ハ

名文ニ而、御覽被成候而可宜与奉存候間、此段

御案内申上何分被相達度旨頼入候事、

廿四日、吉日ニ而はしか御結願仕候事、

一願人数四ツ頭時分此方江相揃候付、子共相列御願所

懸而相勤候様申付候、

十八日、吉日ニ而孫次良樽江読書させ候事、

但、次良者三字経中不編之所、樽者同本初

読せ候事、

廿日、喜久里里之子去十一日那覇江罷下、糸満むら仕明

買入代、同村江小舟を積廻、夫より糸満村江

差越、代錢付届証文等請取、彼是相仕廻、今日

罷帰候由首尾承候事、

廿一日、秘藏之小犬被盜取候哉、夜前も不相見得、

随分探東いたし候様、こおり役豊本にや江申付候事、

廿二日、宜寿次龜読書出精之段承、為褒美

百田紙一帖相讓候事、

但、山戸も罷出候付、真似合紙ニ寿之字書調

くり候事、

同日、伊集里之子親雲上相招申達候者、此間宜野湾

王子様より今川越中之守仰出之書付書調方

御頼有之候処、右文本字ニ而余ほと仕組方

不仕候而不叶候間、家道訓ニ相見得候陰徳之文、是ハ

名文ニ而、御覽被成候而可宜与奉存候間、此段

御案内申上何分被相達度旨頼入候事、

廿四日、吉日ニ而はしか御結願仕候事、

一願人数四ツ頭時分此方江相揃候付、子共相列御願所

銘々罷通、酉半時分罷帰、火之神御前・御靈前
御焼香仕候事、

但、女共子共者 御神も御拜仕候事、

一宜寿次親方・仲村親方・佐久真里之子親雲上・仲村
里之子親雲上本座江申入、三献・菓子御馳走相祝候事、

一右相濟、宜寿次・仲村江祝儀罷出、酒代進候事、

但、千餅菓子・さうめん吸物馳走有之候事、

一酒代私夫婦・悴夫婦ニ而壹通ツ、持参いたし候事、

一宜寿次・仲村も其通給候事、

一円覚寺江罷出候処、法堂大辰長老内江
被相招、茶々請・寄とうふ吸物など御馳走、御心入之儀ニ候、
弁之御紙ニ而之有之候処、本紙申入相見不申候付略す。

一廿五日、伊集里之子親雲上罷出、一昨日承候趣王子様江
申上候処、越中守御文言ハ御右筆王取

鳥袋筑登之親雲上江御頼被成替候間、弥私者陰徳之
文書調度由被仰下候由、

九月
一廿六日、評定所筆者武島里之子親雲上御用ニ付、罷出候序ニ
宜寿次親方・仲村親方江借渡銭及過分、両所江も当分不如
意之体ニ而右返濟方不相見得、此俣ニ而召置候而者、以後
故障之儀出来可申哉念遣ニ存、此節親方相談ニ而帳面消除、
証文相与へ候口達扣之地取、又者老後教訓之書付地取入披見ニ
相調部度由相頼候由、悴承候事、

但、武島得与披見、殊之外感心為有之由、

一十月中

一朔日、孫次良事今日手習いたし度候間、筆紙墨

一 國元守下所公の法書大辰長老を
一 宜寿次親方・仲村親方・佐久真里之子親雲上・仲村
里之子親雲上本座江申入、三献・菓子御馳走相祝候事、
一 右相濟、宜寿次・仲村江祝儀罷出、酒代進候事、
但、千餅菓子・さうめん吸物馳走有之候事、
一 酒代私夫婦・悴夫婦ニ而壹通ツ、持参いたし候事、
一 宜寿次・仲村も其通給候事、
一 円覚寺江罷出候処、法堂大辰長老内江
被相招、茶々請・寄とうふ吸物など御馳走、御心入之儀ニ候、
弁之御紙ニ而之有之候処、本紙申入相見不申候付略す。
一 廿五日、伊集里之子親雲上罷出、一昨日承候趣王子様江
申上候処、越中守御文言ハ御右筆王取
鳥袋筑登之親雲上江御頼被成替候間、弥私者陰徳之
文書調度由被仰下候由、
九月
一 廿六日、評定所筆者武島里之子親雲上御用ニ付、罷出候序ニ
宜寿次親方・仲村親方江借渡銭及過分、両所江も当分不如
意之体ニ而右返濟方不相見得、此俣ニ而召置候而者、以後
故障之儀出来可申哉念遣ニ存、此節親方相談ニ而帳面消除、
証文相与へ候口達扣之地取、又者老後教訓之書付地取入披見ニ
相調部度由相頼候由、悴承候事、
但、武島得与披見、殊之外感心為有之由、
一 十月中
一 朔日、孫次良事今日手習いたし度候間、筆紙墨

くわりのわりの世をなす唐筆一本・百田紙一帖くり候付、殊之
外悦候而、則天下太平之字書調差出候事、

同日、勝連按司御安否御尋申上、かすていら一箱進上仕候事、
一此内者御食事相通り、一度にくかし煎茶々わん半分ほど被
召上候由承委ク相尋候処、御のんとに何歎立候様有之、御
食事上り不申由、余はと虫之障ニ而可有之与、真満申候由、
依之相考候処、右通御食事少候而者、御根気迄申積ニ而念
遣存、知花里之子親雲上相招、虫之障ニ而候ハ、反魂丹・
神教丸御用可宜候間、其方ニ而御殿江參上、得与御様子
共承候而差上可申由ニ而、知花江□□候事、

二日、勝連按司御安否御尋ニかま差遣候処、昨日差上候神教丸
御用被成候付、御のんどの障り御快罷成、今日ハくかし煎茶わん
八分、此中ハ倍ほど被召上候由、

一真満より見事之提手籠御儀作り候由ニ而相讓候事、
同日朝五ツ過時分、大地震いたし、此比無之半時計
二相止、然ながら先年両度之大地震る余ほと弱有之候、
一四日、内間親雲上事、明後六日乗船之由承、今日相招
餞別咄いたし候事、

一内証石嶺里之子親雲上・供具志堅にやも相招候処、
仕舞方折角取込之由ニ而不罷出候、
一与風兼ケ段親雲上・与力阿波根里之子親雲上も相招
候処、晩方より罷出候事、
一相伴父天願親雲上相頼候事、
一何ぞ格立候餞別ニ而も無之候付、宜寿次親方・
仲村親方も相招嘶申候事、
一料理者膳部之通別冊ニ而略す

有り
一内間親雲上事、明後六日乗船之由承、今日相招
餞別咄いたし候事、

一内証石嶺里之子親雲上・供具志堅にやも相招候処、
仕舞方折角取込之由ニ而不罷出候、

一与風兼ケ段親雲上・与力阿波根里之子親雲上も相招
候処、晩方より罷出候事、

一相伴父天願親雲上相頼候事、

一何ぞ格立候餞別ニ而も無之候付、宜寿次親方・
仲村親方も相招嘶申候事、

一料理者膳部之通別冊ニ而略す

くり可申由申候付、遣懸之唐筆一本・百田紙一帖くり候付、殊之
外悦候而、則天下太平之字書調差出候事、

同日、勝連按司御安否御尋申上、かすていら一箱進上仕候事、
一此内者御食事相通り、一度にくかし煎茶々わん半分ほど被
召上候由承委ク相尋候処、御のんとに何歎立候様有之、御
食事上り不申由、余はと虫之障ニ而可有之与、真満申候由、
依之相考候処、右通御食事少候而者、御根気迄申積ニ而念
遣存、知花里之子親雲上相招、虫之障ニ而候ハ、反魂丹・
神教丸御用可宜候間、其方ニ而御殿江參上、得与御様子
共承候而差上可申由ニ而、知花江□□候事、

二日、勝連按司御安否御尋ニかま差遣候処、昨日差上候神教丸
御用被成候付、御のんどの障り御快罷成、今日ハくかし煎茶わん
八分、此中ハ倍ほど被召上候由、

一真満より見事之提手籠御儀作り候由ニ而相讓候事、
同日朝五ツ過時分、大地震いたし、此比無之半時計
二相止、然ながら先年両度之大地震る余ほと弱有之候、
一四日、内間親雲上事、明後六日乗船之由承、今日相招
餞別咄いたし候事、

一内証石嶺里之子親雲上・供具志堅にやも相招候処、
仕舞方折角取込之由ニ而不罷出候、

一与風兼ケ段親雲上・与力阿波根里之子親雲上も相招
候処、晩方より罷出候事、

一相伴父天願親雲上相頼候事、

一何ぞ格立候餞別ニ而も無之候付、宜寿次親方・
仲村親方も相招嘶申候事、

一料理者膳部之通別冊ニ而略す

一 右藥二枚能書取添御もたせ、一枚ニ銀子五匁ツ、
 齒いたみ之時此藥牙本ニ付候へ者、則時ニ相止名藥
 二而、代銀も心易有之候間、二・三百枚も誂越候而可然由、
 御咄為有之由、天願申候、
 一 五日、老人富盛里之子親雲上見廻、此節名鳥願居候節、
 私江も宜相計得度由頼承、書付被相渡、則致
 披見候處、諸間切檢者四度被相勤、其外筆者
 役共段々被相勤、奉行役も一度被相勤、歳も七十
 九歳稀成長命ニ而、願立相応可仕候間、忝親方
 高原殿内御用ニ參上仕候序、内々私も御内意
 申上之苦筈与存候段、相達候事、
 一九日、後之山江有之候松之儀枯候付、切倒候事、
 但、大松ニ而場所も宜風水ニも相懸り筈ニ而、別而
 秘藏ニ存候處、右通氣之毒ニ存候事、
 一 右代り松急度小松數本植付させ可申旨、天願

一 右藥二枚能書取添御もたせ、一枚ニ銀子五匁ツ、
 齒いたみ之時此藥牙本ニ付候へ者、則時ニ相止名藥
 二而、代銀も心易有之候間、二・三百枚も誂越候而可然由、
 御咄為有之由、天願申候、
 一 五日、老人富盛里之子親雲上見廻、此節名鳥願居候節、
 私江も宜相計得度由頼承、書付被相渡、則致
 披見候處、諸間切檢者四度被相勤、其外筆者
 役共段々被相勤、奉行役も一度被相勤、歳も七十
 九歳稀成長命ニ而、願立相応可仕候間、忝親方
 高原殿内御用ニ參上仕候序、内々私も御内意
 申上之苦筈与存候段、相達候事、
 一九日、後之山江有之候松之儀枯候付、切倒候事、
 但、大松ニ而場所も宜風水ニも相懸り筈ニ而、別而
 秘藏ニ存候處、右通氣之毒ニ存候事、
 一 右代り松急度小松數本植付させ可申旨、天願

三親方上江申付候事

一射場北之辺坂成之所見候へ者、小松植付候而茂

盛生不致、竹敷かふ召成候ハ、可宜互存候ニ付、

見分ヲ以申出候様、同人江申付候事、

一十日、前川殿内家人人数疹凌ニ付、去六月廿八日

下屋敷ニ罷越居候処、首尾能相免り、今日酉

時分帰宅いたし、いづれも大慶安堵いたし候事、

一安谷屋内儀子共も本文之通罷越居候処、去二日ニ

帰宅いたし候事、

一前川人数帰宅、此方江罷出候付、銘々菓子・夜めし

馳走いたし候事、

一前川も茶請一重相調持参有之候事、

一十一日、外間筑登之親雲上乘船入津、御国元御吉左右両王子

佐渡山親方御乗船、其外登船無恙上着、館内王子・親

方を始役々末々迄御別条無之由、

一春運漕舟ハ昨日久高しま汐懸候由、

一十三日、知念親方・蔵役佐久本筑登之親雲上乘舟、去廿九日

山川出帆仕候事、

一同日、宜寿次親方并御同人御室御洗骨仕候事、

一御弔僧広徳寺陰涼長老并維那老人・同宿

老人

一御両所様御かしら毛之儀、別而大切成事ニ而

里之子親雲上江申付候事、

一射場北之辺坂成之所見候へ者、小松植付候而茂

盛生不致、竹敷かふ召成候ハ、可宜互存候ニ付、

見分ヲ以申出候様、同人江申付候事、

一十日、前川殿内家人人数疹凌ニ付、去六月廿八日

下屋敷ニ罷越居候処、首尾能相免り、今日酉

時分帰宅いたし、いづれも大慶安堵いたし候事、

一安谷屋内儀子共も本文之通罷越居候処、去二日ニ

帰宅いたし候事、

一前川人数帰宅、此方江罷出候付、銘々菓子・夜めし

馳走いたし候事、

一前川も茶請一重相調持参有之候事、

一十一日、外間筑登之親雲上乘船入津、御国元御吉左右両王子

佐渡山親方御乗船、其外登船無恙上着、館内王子・親

方を始役々末々迄御別条無之由、

一春運漕舟ハ昨日久高しま汐懸候由、

一十三日、知念親方・蔵役佐久本筑登之親雲上乘舟、去廿九日

山川出帆仕候事、

一同日、宜寿次親方并御同人御室御洗骨仕候事、

一御弔僧広徳寺陰涼長老并維那老人・同宿

老人

一御両所様御かしら毛之儀、別而大切成事ニ而

鹿相ニ取扱候而不罷成儀ニ而、右治方何様有之
 可然哉、いづれも申談候処、世上之仕向も不承
 候得共、みほそかしらも御箱ニ入付候付而、御厨子ニ
 入候方可然与相決、御厨子ニ入候事、
 一宜寿次より御霊供一对・御三味差上候事、
 一私・仲村親方・知念御前・知花御前四人銘々御三味
 仕候事、
 一御焼香人数別冊之通、
 一右人数、男ハ伊江御殿御下屋敷、女性方ハ外庭
 幕構ニ而、
 一料理ハ伊江御殿御下屋敷台所御借仕候事、
 一十五日、次良江形付ひと衣裳くり候考ニ而、木綿
 一反乳母江相渡候事、
 一十七日、おた子三ら口中ニ白ミ相付、乳吞不申候付、
 比嘉筑登之親雲上相招見せ候処、是ハ鷲口与申病ニ而
 六ヶ敷病之由ニ而、入念養生いたし度相頼粉□
 一包被給相用候事、
 但、右葉代として銭式拾貫文相讓候事、
 一十九日、山城里之子罷出承候者、家内極々及困窮候間、銭
 三千五百貫文見次いたし度由、書付ヲ以申出、見届
 候処、憐敷次第無扱候へ共、右高ハ不及手式、何分
 ほとハ加勢相調候哉、相考返答いたし候由、相達置

鹿相ニ取扱候而不罷成儀ニ而、右治方何様有之
 可然哉、いづれも申談候処、世上之仕向も不承
 候得共、みほそかしらも御箱ニ入付候付而、御厨子ニ
 入候方可然与相決、御厨子ニ入候事、
 一宜寿次より御霊供一对・御三味差上候事、
 一私・仲村親方・知念御前・知花御前四人銘々御三味
 仕候事、
 一御焼香人数別冊之通、
 一右人数、男ハ伊江御殿御下屋敷、女性方ハ外庭
 幕構ニ而、
 一料理ハ伊江御殿御下屋敷台所御借仕候事、
 一十五日、次良江形付ひと衣裳くり候考ニ而、木綿
 一反乳母江相渡候事、
 一十七日、おた子三ら口中ニ白ミ相付、乳吞不申候付、
 比嘉筑登之親雲上相招見せ候処、是ハ鷲口与申病ニ而
 六ヶ敷病之由ニ而、入念養生いたし度相頼粉□
 一包被給相用候事、
 但、右葉代として銭式拾貫文相讓候事、
 一十九日、山城里之子罷出承候者、家内極々及困窮候間、銭
 三千五百貫文見次いたし度由、書付ヲ以申出、見届
 候処、憐敷次第無扱候へ共、右高ハ不及手式、何分
 ほとハ加勢相調候哉、相考返答いたし候由、相達置

候事

同日、比嘉筑登之親雲上罷出、三良見せ候処、余ほと能罷成候由三而、粉くすり相渡候事、

十八日、進貢兩唐船出帆し候、

廿一日、夜前九ツ時分、丑寅之方三而大雨大嵐吹候、

廿五日、体式あんはい用諸白老沸、式拾五貫文三而買入、野崎にや差出候処、稀三相用候へ者右通代

三而買入相用候而も可然之処、常々之事情間□

焼酎ニ砂糖入相用宜候間、買入ハ無用可仕由、野崎にや江申付候事、

廿五日、山城里之子相招、其方江見次候儀、此方江も当分

差迫候折三而、三千五百貫文ハ不及所存、五百貫文見次いたし候段、相達候事、

但、米錢其方江者何を入用候哉与相尋候処、

可成ほとハ米相渡度由申候付、米壹石代錢

五百八拾貫文引合相渡候由、首尾承候事、

一廿八日、勝連若按司、庭物見之赤木る落身体

強ク相痛セ、いづれも確与打驚いしや方二頼入候間

不相達、森浜筑登之親雲上夜御番之由承、御雇申上

夜入候而被罷出、則療治方取付、煎薬引くすり

相用候事、

頭額之上打ふかし血走出候処、俄之事三而

相用候事、

多葉粉御付候而、血留候事、

一左之うて強ク相痛ミ、骨折候半与別而

世話存候処、森浜得与見被申、骨ハ折不申

被申候付、安心いたし候事、

一廿九日五ツ時分、

一森浜事、按司御痛所本服させ、其上新敷

取合、折節相頼度存含居候処、能序ニ而右

之段親方・私ニ而申達、左之通私る茶具進之事、

一鶴之森茶一壺 壺斤半ほと 茶家一ツ

一煎茶々わん十 一琉焼かい置十

但、親方るハ焼酎酒具相讓候考之由、

一卅日、若按司江上白羽扇子一本・

花染手掛壺筋相讓候事、

十一月中

一朔日、玉元筑登之親雲上る九年母一手籠、私・悴江到来、

一二日、黄金花一鉢、父天願里之子親雲上る到来、

一四日、森浜筑登之親雲上被罷在、若按司論脈、痛所等

見分被致候処、最早過半平癒いたし候間、

煎薬も相用申二不及由二而、粉薬一包被給候事、

一六日、若按司守役山城にや、森浜江罷出候処、鶏

之内二入煮調候粉くすり被相渡候、

一黒色之め鶏丸煮いたし、腹ささかし候而臟脾

言ふ所は、

一左之うて強ク相痛ミ、骨折候半与別而

世話存候処、森浜得与見被申、骨ハ折不申

被申候付、安心いたし候事、

一廿九日五ツ時分、

一森浜事、按司御痛所本服させ、其上新敷

取合、折節相頼度存含居候処、能序ニ而右

之段親方・私ニ而申達、左之通私る茶具進之事、

一鶴之森茶一壺 壺斤半ほと 茶家一ツ

一煎茶々わん十 一琉焼かい置十

但、親方るハ焼酎酒具相讓候考之由、

一卅日、若按司江上白羽扇子一本・

花染手掛壺筋相讓候事、

十一月中

一朔日、玉元筑登之親雲上る九年母一手籠、私・悴江到来、

一二日、黄金花一鉢、父天願里之子親雲上る到来、

一四日、森浜筑登之親雲上被罷在、若按司論脈、痛所等

見分被致候処、最早過半平癒いたし候間、

煎薬も相用申二不及由二而、粉薬一包被給候事、

一六日、若按司守役山城にや、森浜江罷出候処、鶏

之内二入煮調候粉くすり被相渡候、

一黒色之め鶏丸煮いたし、腹ささかし候而臟脾

少少一法白二而もみ、右粉くすり袋三人はら之
内三人候而、猶又煮調候而料理候而相用候由、
一此中相用候引くすりハ、もはや無用いたし、
明日もたて候而可然由、たて候仕様ハ明日被相教
候由、

一 豊見城里之子親雲上る極上之拾奴黒一丁到来、

一 九日、勝連若按司痛所全快いたし、今日御殿江罷帰り
候付、左之通按司江差上、乳母・守役江も相讓候事、
若按司江此間時々相讓候

一 極上白羽扇子一本
一 花染手掛一筋

一 一百田紙一帖
一 小文筆式本

一 按司御夫婦江
一 散砂糖一重七寸
一 諸白一瓶壺沸

一 一國分多葉粉三把ツ、

一 十日、老後家中記仲村親方江しらへ方相頼
候事、

一 伊波親雲上被相直候書付地取、武島里之子親雲上る
被給候附録も仲村江相渡候事、

一 同日手つから茶をせんじ候事、

一 十三日、先日武島里之子親雲上江、老後家中記添削相頼置候処、
存寄無之、附録書綴被給作得、別而入念たる儀二而、

一 礼謝私・忝兩人三而喜久里里之子差支、左之通忝名前
ヲ以差遣候事、

一 和扇子一箱三人入
一 多葉粉入壺ツ

一 一和扇子一箱三人入
一 多葉粉入壺ツ

一 和扇子一箱三人入
一 多葉粉入壺ツ

一 國分多葉粉壹斤 一 帶地一筋

一 十五日、馬二疋飼立料取立させ候処、三十六拾貫文餘

高三及、親方江者当分乗も仕不申、徒成造作二而

候間、一疋ハ引させ一疋相立候様、相談いたし候処、親方も

弥同意二而田舎江預置候事、

一 十七日、御医者□、仲村渠筑登之親雲上事、家内疹之時分

養生方頼入候処、別而被入念いつれも首尾能相仕舞

候付、為礼謝今日私・忝兩人二而左之通進候事、

一 詩歌懸物一幅筆入 一 國分たはく一斤

一 散砂糖一重八寸

一 十八日、上原按司御家内人数新里をなちやら疹

首尾能御凌、今日御帰殿被成候付、浦添番所江

差越御迎仕候事、

一 菜めし・メ物相調持越、皿鉢盛合御休差上候事、

一 小弁当ニ焼酎・取肴共仕合、御馳走仕候事、

一 御供ニ而罷登候さはくり・頭なと江も、菜めし馳走

いたし候事、

一番所るたいまつ十所望いたし、上原御殿此方人数

中途相用候、

一 廿二日、勝連按司御見廻いたし、有合之あんもち

一 重・白木森茶一包差上候事、

一 廿三日、山本にや母子相列罷出、あんもち式重私・忝江

Handwritten Japanese text in vertical columns, corresponding to the printed text on the right. It includes various entries such as '一 國分多葉粉壹斤', '一 十五日、馬二疋飼立料取立させ候処', and '一 十七日、御医者□、仲村渠筑登之親雲上事'.

〜候事

但、山本にや事、此ほと稽古物いたし度候間、一節奉公断之段承候処、奉公懸而稽古物いたし候方可宜与考直し、此中之通奉公申度由申出候付、其通申付候事、

同日、昨日仲村江小鳥飛入、善興寺江占御頼いたし候処、家内人数之内運氣弱方も有之候間、浜卸いたしそへく由申来、酉時分小那覇村江罷下り候事、

一右通俄ニ物入も有之筈ニ而、私忤ニ而錢百貫文合力いたし候事、嘉慶拾五年庚午別冊と拔

嘉慶拾五年庚午別冊と拔

西月中

一 大宜見親方此間たんかあ成子天亡いたし候段者不承、十六日ニ承候付、悔申入忌中尋共いたし候事、

二月中

一 六日、勝連按司御病氣御尋申上、千餅五十枚差上候事、

一 同日、紫金堤払底ニ付、求方之事、

一 同日、川平親雲上三日中慶良間島罷渡候由ニ而、

暇乞ニ罷登候、何歟錢差遣候事、

くり候事、

但、山本にや事、此ほと稽古物いたし度候間、一節奉公断之段承候処、奉公懸而稽古物いたし候方可宜与考直し、此中之通奉公申度由申出候付、其通申付候事、

同日、昨日仲村江小鳥飛入、善興寺江占御頼いたし候処、家内人数之内運氣弱方も有之候間、浜卸いたしそへく由申来、酉時分小那覇村江罷下り候事、

一右通俄ニ物入も有之筈ニ而、私忤ニ而錢百貫文合力いたし候事、嘉慶拾五年庚午別冊と拔

正月 中

一 大宜見親方此間たんかあ成子天亡いたし候段者不承、十六日ニ承候付、悔申入忌中尋共いたし候事、

二月中

一 六日、勝連按司御病氣御尋申上、千餅五十枚差上候事、

一 同日、紫金堤払底ニ付、求方之事、

一 同日、川平親雲上三日中慶良間島罷渡候由ニ而、暇乞ニ罷登候、何歟錢差遣候事、

同日、川平親雲上三日中慶良間島罷渡候由ニ而、暇乞ニ罷登候、何歟錢差遣候事、

同日、川平親雲上三日中慶良間島罷渡候由ニ而、暇乞ニ罷登候、何歟錢差遣候事、

廿三日、去十七日評価物焼失ニ付而、御奉行様江御相談可申上旨、撰政・三司官方悴江被仰付罷出候事、

但、委細日記ニ相記候事、

廿八日、次良事、此内方虫氣ニ有之候付、今日方使君子湯相用候事、

去十一日、宜野灣王子様御來駕之時、名護里之子親雲上・宇良筑登之相頼、御座興させ候礼之事、

但、去八日横目付々衆御出之時、相頼候共人数江者錢式百貫文、頭兩人江たはこ

差遣候事、

四月中

十三日、上原御殿江伊集里之子差遣、昨日御約束申上置候煎薬被下度由申上候付、二袋御調合被下、洋参二分入せんし給候事、

一まつる事、此比のふし有之、齒しきく之痛ミ有之候付、按司御考を以、丸薬被給

度由、御頼申上候付、六味丸之配剂御書付被下候事、

廿八日、山城にや事、

去廿日比右原按司御煎薬相用快方ニ相見得候处、去六日按司思召を以朝丸薬、晩按司煎薬相用候故、少々咳嗽

朝丸薬、晩按司煎薬相用候故、少々咳嗽

一 繁く罷成候由、山城申出候付、廿八日また上原御殿江差遣、右通三而八煎葉相応いたし候哉、丸葉宜候哉、分り兼申候間、先五・六日者丸葉はかり相用、試三而申上候ハ、猶又御葉被下度由申上させ候事、

五月中

一 廿八日、当年者鳩殊之外繁栄、家不足いたし候付、西之家中庭之北面ニ新家作させ候事、

一 同日より喜屋武子奉公ニ出候事、

同日、崎原里之子親雲上申口座御位頂戴ニ付、祝儀差遣候事、

一 七日、御評定所主取伊波親雲上相招、老後教訓書悻々宜寿次・仲村江差遣候書付

添消相頼候事、

同日、饒波按司加那志御忌中御尋申上候事、

同日、御湯之粉差上候、

同日、普天間里之子親雲上妻不幸ニ付、忌中尋候事、

同日、和とうふ差遣候、

同日、旅衆餞之事、

同日、大和江書状・音物之事、

一 松堂親雲上死去之段、五月廿三日承、香酒代

悔差遣候事

新□里之子親雲上於唐、嫡子不幸之段到来ニ付、悔申入
忌中尋之事、

但、五月廿六日悔申入、香酒代差遣、六月

十三日忌中尋、和とうふ差遣候事、

一廿四日、左之小指いたませ候事、

一廿五日、小那覇筑登之親雲上相招、上原按司御頼之
一件相談いたし候事、

一吟味之趣大概承候処、餘間切江も七ヶ条□□
与那城間切同様之所有之例を引、願出

候ハ、何歎いたしかたく候付、いまた一決不致由、

一十一日、朱文公格言、内間筑登之親雲上江借相渡候事、

六月中

一十二日、魚掘ニ神鳥付候而、後之座前小池江

百七本、東之小池五拾四本、丸池ニ入候事、

一同日伊集里之子・蒲戸・次良・樽、朝之間読書
させ候事、

但、此中ハ朝之間いつれも相寄茶を給候処、

今日右柄ニ申付候事、

一十六日、神鳥一ツ取候事、

一十七日、うら座之前之小池当年子之

小魚三十九本丸池ニ入候事、

悔差遣候事

新□里之子親雲上於唐、嫡子不幸之段到来ニ付、悔申入
忌中尋之事、

但、五月廿六日悔申入、香酒代差遣、六月
十三日忌中尋、和とうふ差遣候事、

一廿四日、左之小指いたませ候事、
一廿五日、小那覇筑登之親雲上相招、上原按司御頼之
一件相談いたし候事、

一吟味之趣大概承候処、餘間切江も七ヶ条□□
与那城間切同様之所有之例を引、願出
候ハ、何歎いたしかたく候付、いまた一決不致由、

一十一日、朱文公格言、内間筑登之親雲上江借相渡候事、
六月中
一十二日、魚掘ニ神鳥付候而、後之座前小池江
百七本、東之小池五拾四本、丸池ニ入候事、
一同日伊集里之子・蒲戸・次良・樽、朝之間読書
させ候事、
但、此中ハ朝之間いつれも相寄茶を給候処、
今日右柄ニ申付候事、
一十六日、神鳥一ツ取候事、
一十七日、うら座之前之小池当年子之
小魚三十九本丸池ニ入候事、

十八日、つ、木二鉢、其外前之黄金花・万
 非花など之くろ馬ふんこやし入候事、
 廿一日、久場川之御殿御番伊差川筑登之親雲上、下やしき
 茶木植付給候付、右札三絹たはこ入一・たはこ
 五把差遣候事、
 廿四日、下屋敷を真苧こふし来り、上之
 菜園三植付させ候事、
 廿六日、勝連按司御病氣之儀、長々御同篇三而、
 御平癒之体之不相見得候付、知花親方・私兩人
 三而粟国里之子相招、医宗金鑑之書其外
 諸書見合申聞度旨相頼置候処、此程諸書物
 見合、今日知花江罷出候由三而、親方粟国相列
 被罷出候付、書物一通粟国江読せ承候事、
 附、按司御病氣之儀、長々御同篇三而漸々
 御快癒之体三も不相見得、一往ハ粟国江
 御療治方相頼度候間、此内按司懸御目、
 御様体拜候付、見込之程何分申聞度由
 相頼候事、
 廿八日、前川里之子親雲上事、病後いまた根氣も不足ニ
 相見得、且親子下女迄、此節之疹三而看病
 旁差支候間、此度者免り候方可然相談三而、
 今日日柄も宜候付、家内人数下やしき三差越候事、

七月中
七月廿六日次良彦相催候事

委細別冊ニ相記候

一 田地大屋子玉元筑登之親雲上、嫡子玉元子相列
被罷出、嫡子事別而不功有之、彼是為差馴

一 今日の親方江も案内を以奉公相勤させ候間、

万端教訓いたし度由、承候事、

一 十七日、私大たう懸り候処、百四拾三斤かゝり

候事、

但、去年の壱斤ハあかり候事、

一 同日、まさ絵たんす并手ならい卓、後之座江

相直候事、

一 廿日、佐渡山親方御乗船出船、

一 同日、惣慶里之子親雲上江左之書物借相渡候、

武勇勲功記一部三冊

同日、惣慶里親雲上江左之書物借相渡候

武勇勲功記一部三冊

七月中

一 七日、今日の次良彦相催候事、

委細別冊ニ相記候、

一 十二日、田地大屋子玉元筑登之親雲上、嫡子玉元子相列

被罷出、嫡子事別而不功有之、彼是為差馴

今日の親方江も案内を以奉公相勤させ候間、

万端教訓いたし度由、承候事、

一 十七日、私大たう懸り候処、百四拾三斤かゝり

候事、

但、去年の壱斤ハあかり候事、

一 同日、まさ絵たんす并手ならい卓、後之座江

相直候事、

一 廿日、佐渡山親方御乗船出船、

一 同日、惣慶里之子親雲上江左之書物借相渡候、

武勇勲功記一部三冊

嘉慶拾六年辛未年
正月廿一日

一 元日御靈前向、其外諸事嘉例之通相調させ

候事

一 三日、宜寿次龜、去臘廿七日下庫理小赤頭被仰付、

今日御拝相勤候事

但、今日ハ私歳日ニ付相祝候間、龜祝儀者召延、

来ル九日親方同日ニ相祝候筋、相談有之候事、

同日、私歳日ニ付、例之通相祝候事、

一 当年ハ親方心入有之、人々相招末々迄百人

餘馳走いたし候事、

一 九日、宜寿次親方生年之祝儀并龜下こおり

嘉慶拾六年辛未年
正月廿一日

一 元日、御靈前向、其外諸事嘉例之通相調させ

候事、

一 三日、宜寿次龜、去臘廿七日下庫理小赤頭被仰付、

今日御拝相勤候事、

但、今日ハ私歳日ニ付相祝候間、龜祝儀者召延、

来ル九日親方同日ニ相祝候筋、相談有之候事、

同日、私歳日ニ付、例之通相祝候事、

一 当年ハ親方心入有之、人々相招末々迄百人

餘馳走いたし候事、

一 九日、宜寿次親方生年之祝儀并龜下こおり

小赤頭被仰付候付、いつれも罷出相祝候事、

一当年者生年之歳日、又ハかめ祝儀格別二付、

招人教、外上下末々迄百四十人餘馳走

為有之由、

一私并悴兩人ニ而ふたし、拾五斤・昆布

五斤差遣候事、

一五日、美里御殿江年頭之御祝儀ニ、色衣着ニ而参上

仕候処、私も隠居之事候間、八卷ハ取候而御小座敷ニ

罷通候様、御挨拶有之候付、八卷候^(取脱方)而参上、御酒代

差上、兼而御相談之通千餅之御菓子・御茶出候事、

一千餅之御菓子之上ニ金九年母一ツ置御馳走

有之、是ハ賀礼之筋ニ而候半、珍敷始而見申候事、

一年頭二者、御互ニ御菓子・御茶御馳走仕候様、

先年御相談ニ而候処、大和もち御有合之由ニ而、

砂糖煮ニ而御馳走有之候事、

一饒波按司加那志・宮里按司も御出御逢被成候事、

一同日、美里御殿江出立之時分、本門外ニ而与那原親方

此方江御見廻御出之砌、与風懸御目候付、一刻者

内江御通被成候様申上、本座御着被成候付、例之通

三献上、御取替いたし候考候処、今日ハ私も出立之砌

御自分ニも御一人之御勤ニ而御急ケ敷候間、今日

茶一ツ差上候様、因り御挨拶有之候付、千餅之菓子

一 當年者生年之歳日、又ハかめ祝儀格別二付、
招人教、外上下末々迄百四十人餘馳走
為有之由、
一 私并悴兩人ニ而ふたし、拾五斤・昆布
五斤差遣候事、
一 五日、美里御殿江年頭之御祝儀ニ、色衣着ニ而参上
仕候処、私も隠居之事候間、八卷ハ取候而御小座敷ニ
罷通候様、御挨拶有之候付、八卷候^(取脱方)而参上、御酒代
差上、兼而御相談之通千餅之御菓子・御茶出候事、
一千餅之御菓子之上ニ金九年母一ツ置御馳走
有之、是ハ賀礼之筋ニ而候半、珍敷始而見申候事、
一年頭二者、御互ニ御菓子・御茶御馳走仕候様、
先年御相談ニ而候処、大和もち御有合之由ニ而、
砂糖煮ニ而御馳走有之候事、
一 饒波按司加那志・宮里按司も御出御逢被成候事、
一同日、美里御殿江出立之時分、本門外ニ而与那原親方
此方江御見廻御出之砌、与風懸御目候付、一刻者
内江御通被成候様申上、本座御着被成候付、例之通
三献上、御取替いたし候考候処、今日ハ私も出立之砌
御自分ニも御一人之御勤ニ而御急ケ敷候間、今日
茶一ツ差上候様、因り御挨拶有之候付、千餅之菓子

一 當年者生年之歳日、又ハかめ祝儀格別二付、
招人教、外上下末々迄百四十人餘馳走
為有之由、
一 私并悴兩人ニ而ふたし、拾五斤・昆布
五斤差遣候事、
一 五日、美里御殿江年頭之御祝儀ニ、色衣着ニ而参上
仕候処、私も隠居之事候間、八卷ハ取候而御小座敷ニ
罷通候様、御挨拶有之候付、八卷候^(取脱方)而参上、御酒代
差上、兼而御相談之通千餅之御菓子・御茶出候事、
一千餅之御菓子之上ニ金九年母一ツ置御馳走
有之、是ハ賀礼之筋ニ而候半、珍敷始而見申候事、
一年頭二者、御互ニ御菓子・御茶御馳走仕候様、
先年御相談ニ而候処、大和もち御有合之由ニ而、
砂糖煮ニ而御馳走有之候事、
一 饒波按司加那志・宮里按司も御出御逢被成候事、
一同日、美里御殿江出立之時分、本門外ニ而与那原親方
此方江御見廻御出之砌、与風懸御目候付、一刻者
内江御通被成候様申上、本座御着被成候付、例之通
三献上、御取替いたし候考候処、今日ハ私も出立之砌
御自分ニも御一人之御勤ニ而御急ケ敷候間、今日
茶一ツ差上候様、因り御挨拶有之候付、千餅之菓子

茶差上、御婦被成候事、

十一日、真つる事、最早産前ニ相成候処、明日吉日ニ而候間、手くすり相用候様相達、例之通右料として
錢三十貫文相讓候事、

十二日、次良事最早八歳ニ罷成候付、読書之儀
長老衆御頼申上候方可然相談ニ而、先日親方
広徳寺江罷出、陰滋和尚御頼申上置候付、今日
吉日ニ付次良寺江罷出、読書相始候事、

一 右ニ付、例之通さうめん五斤持参差上候事、

一 宜寿次かめ朋輩共、宜寿次江相集手習・学問等
いたし候付、次良も今日宜寿次江差遣候付、

八寸重箱二ツ茶請相納、一重ハ親方ニ、一重ハ
二才共江差遣候事、

一 十五日、年頭為祝儀、左之人数酒代持参有之候付、
頂ぎ、千餅之菓子茶馳走いたし相濟、宜寿次・仲村江
酒代持参、左之人数江進候事、

宜寿次夫婦 仲村夫婦 妹むたしや

一 右之人数之外年頭差遣人数

御旅
本部王子 東風平筑登之親雲上 高原里之子親雲上

上原按司御夫婦 勝連按司御夫婦

内間親雲上夫婦 前川親雲上夫婦 富盛祖母
伊江親方夫婦

任江親方夫婦

一 仲村親方夫婦ハ今日歳日ニ酒代ニツ差遣候事

一 来年ノハ、歳日之祝ニ年頭祝儀モ差遣候

相談仕置候事、

一 外方年頭祝儀ニ御出被成候方ハ、御人体次第

三献迄、上下之人数ハ菓子・茶迄馳走いたし

候筋、相談仕置候事、

一 年頭為祝儀、兄弟叔甥拝礼之礼式左之通申談

候事、

一 兄弟ハ同烈之筋ニ而、拝礼ニ不及候哉、得与相糺候事、

一 親子叔甥ハ尊卑之分ニ候間、拝礼いたし候事、

一 十五日、国頭若按司御次男樽金御出、家鳩望三付、

八羽ツ、相讓候事、

一 十九日、森浜被罷出室看脈被致候処、

もはや脈体宜敷、元氣も立候様相見得候由被申候付、

最早丸薬相用候而ハ何様候哉与申候付、弥可然候間、

此内調合被致由、被申候、

一 同日、美里王子ノ年頭為御祝儀御懸り大城子

御使を以私夫婦江御酒代被下候付、大城後之座江

申入、色衣大帯ニ而罷出、御酒代頂候事、

一 先日、御殿江参上仕候時、隠居之事候間、冠ハ

無用仕可然由被仰下候付、冠無三頂候事、

一 先日、私直ニ参上、夫婦ニ而御酒代差上候付而ハ、

一 仲村親方夫婦ハ今日歳日ニ酒代ニツ差遣候事

一 来年ノハ、歳日之祝ニ年頭祝儀モ差遣候

相談仕置候事、

一 外方年頭祝儀ニ御出被成候方ハ、御人体次第

三献迄、上下之人数ハ菓子・茶迄馳走いたし

候筋、相談仕置候事、

一 年頭為祝儀、兄弟叔甥拝礼之礼式左之通申談

候事、

一 兄弟ハ同烈之筋ニ而、拝礼ニ不及候哉、得与相糺候事、

一 親子叔甥ハ尊卑之分ニ候間、拝礼いたし候事、

一 十五日、国頭若按司御次男樽金御出、家鳩望三付、

八羽ツ、相讓候事、

一 十九日、森浜被罷出室看脈被致候処、

もはや脈体宜敷、元氣も立候様相見得候由被申候付、

最早丸薬相用候而ハ何様候哉与申候付、弥可然候間、

此内調合被致由、被申候、

一 同日、美里王子ノ年頭為御祝儀御懸り大城子

御使を以私夫婦江御酒代被下候付、大城後之座江

申入、色衣大帯ニ而罷出、御酒代頂候事、

一 先日、御殿江参上仕候時、隠居之事候間、冠ハ

無用仕可然由被仰下候付、冠無三頂候事、

一 先日、私直ニ参上、夫婦ニ而御酒代差上候付而ハ、

一 御直ニ御出可被成与存候間、為何御分も無之
 右次第甚御龜札ニ相見得候、依之御隱居
 読谷山王子・義村王子江者御年頭之御礼式
 何様被仰付候哉与、御尋候処、彼御兩所ハ御隱居
 之事ニ而、御互二年頭之御礼式も御延引
 被成候由承、御叔父御兄之御間柄も右通候間、
 来年ハ年頭之御礼御互ニ延引仕候筋
 御相談いたし可然与存候事、
 一 私えほし子大宜見親方・波平親方・嵩原里之子親雲上・東風平
 筑登之親雲上・奥原親雲上其外前与力佐久本里之子親雲上・
 岡村里之子親雲上・池原里之子親雲上・浦崎里之子親雲上・兄弟
 嵩本親雲上此ほと年頭為祝儀、酒代持参
 有之候処、隱居其上来年ハ八十歳罷成
 候付而者、年頭之為祝儀酒代持参ハ無用ニ而、
 始見廻ニ罷出候筋相談いたし可然与存候事、
 一 廿一日、月湛長老金城にや御使を以、今日ハ天氣も長閑ニ
 罷成、はた持も宜候間、隱居江罷出碁打可申由
 被仰聞候処、明後日悴客来ニ而大取込ニ而、供も不罷居
 候間、此以後参上可仕段申上候事、
 一 廿三日、親方追々旅被仰付筈ニ而、雜参会と
 十五人其外帳主取・同筆者・給地中取・同筆者
 都而五十人ほと相招、緩々相咄候事、

一 昼間じよくもち・湯取もち入交小平
 相付、晩本膳四ツ組手引一ツ・間之吸物・取肴
 都而膳部之通、

一 帳主取筆者ハ古米御願として立願仕置候付、
 祝候而三献出、親方取替共いたし候事、

一 廿四日、末吉里主先祖森山親方御事、在番之
 御勤不被成候処、旅数御勤被成勲功を以知行高
 八拾石被成下候由承候、仲村も跡々無之、唐大和之
 旅十四度相勤無類之旅功相募候付而ハ、森山例を以
 加増共被成下事も可有之哉与存、仲村ニ而御系図座
 筆者共近付之者相頼、末吉系図拔書致させ

度由、申段候事、

一 廿五日、吉日ニ而宜寿次親方七十二生年ニ而、立願并
 年頭御使者之時結願仕候事、

一 願書ニ相立候人数八十人餘
 一 願人数罷帰候付、三献出、昼休茶めし、
 晩手引一ツ之料理其外吸物など段々馳走
 有之候事、

一 私々肴料とノ錢二十貫文、俸らまんでう
 一 器之内差遣候事、

一 同日、池原筑登之親雲上相頼、永松里之子親雲上・屋比久筑登之
 五主願ニ而内意申上候事、

一 願書ニ相立候人数八十人餘

一 願人数罷帰候付、三献出、昼休茶めし、
 晩手引一ツ之料理其外吸物など段々馳走
 有之候事、

一 私々肴料とノ錢二十貫文、俸らまんでう
 一 器之内差遣候事、

一 同日、池原筑登之親雲上相頼、永松里之子親雲上・屋比久筑登之
 五主願ニ而内意申上候事、

一 願書ニ相立候人数八十人餘

一 願人数罷帰候付、三献出、昼休茶めし、
 晩手引一ツ之料理其外吸物など段々馳走
 有之候事、

一 私々肴料とノ錢二十貫文、俸らまんでう
 一 器之内差遣候事、

一 同日、池原筑登之親雲上相頼、永松里之子親雲上・屋比久筑登之
 五主願ニ而内意申上候事、

一日日江東邸に召取り奉候將之内意は

永松江委細申達候処、自分引候供五主之内ハ、
何共相賦かたく候間、五主十人之内、
大五主代彦人ハ役者中吟味を以相片付候間、
右相談之時、随分肝煎いたし候由、
一屋比久之は前事、右一件三付、去廿日ハ
被罷出、右世話三付而滞留被致、今日右次第
申達候付、被罷帰候、

一廿八日晚、まつる男子平産いたし、いづれも大慶不斜
候事、

一今日吉日ニ付、賀礼之通川卸之儀式相済、□
人数相祝、夜めし馳走いたし候事、

二月中
一朔日、親方事来年頭御使者被仰出、難有次第ニ
奉存候事、

御両所様ハ私・親方江御祝詞シ 上使御近習
高嶺里之子親雲上御出被成候間、御三献差上、私・忝も
御盃頂候事、

一前読谷山王子・ 義村王子・ 宜野湾王子
美里王子・ 高原親方ハ御祝詞御使
有之、按司衆・親方衆其外段々祝儀ニ御出
被成候事、

御両所様ハ私・親方ハ御祝詞シ 上使御近習
高嶺里之子親雲上御出被成候間、御三献差上、私・忝も
御盃頂候事、

一前読谷山王子・ 義村王子・ 宜野湾王子
美里王子・ 高原親方ハ御祝詞御使
有之、按司衆・親方衆其外段々祝儀ニ御出
被成候事、

御両所様ハ私・親方ハ御祝詞シ 上使御近習
高嶺里之子親雲上御出被成候間、御三献差上、私・忝も
御盃頂候事、

御両所様ハ私・親方ハ御祝詞シ 上使御近習
高嶺里之子親雲上御出被成候間、御三献差上、私・忝も
御盃頂候事、

一 豊後親方はかゝりて然とて外は宗
次第御吸物・御菓子差上、緩々被成御座候方
夜めし御馳走いたし候事、

二百四

上々様へ法儀相成候事、御沙汰候御座候事、
御沙汰候御座候事、御沙汰候御座候事、
御沙汰候御座候事、御沙汰候御座候事、

一 平江半兵衛殿祝儀ニ御出被成候付、三献上□
吸物料理夜食迄御馳走、夜更迄緩^(タカ)□
御嘶、御帰被成候事、

一 同日、室事、去年十一月比る不断下シ有之

食事も少候上、好味之物ハ腹ニ障候而一切
給不申、漸々瘦候ハ、根氣も相衰候様相見得、
念遣ニ存、いしや森浜里之子親雲上相頼服薬させ
候付、別而相応いたし、漸々快相成最早全快
いたし、且真つる事去月廿八日朝男子致出生、
是又産前産後迄森浜煎薬相用、何之障も
無之、兩人共最早服薬ニ不及、室者丸薬
相用可然由、森浜被申候ニ付、此程之礼申達、
親方左之通進候事、

一 百田紙一束 一 紺地島細布一反
一 十一日、本部王子御乗船入津、

十二日親方年頭御使者被仰付候御請、四ツ頭時分
登城、退城直ニ御飯屋方御届申上、銘々門迄
御見舞、八ツ時分罷歸候事、

一 琉藏役具志堅筑登之親雲上相列候先例ニ而、具志堅方
罷出候付、例之通三献出、親方取替共いたし、

相列罷下那覇之勤相濟罷登、具志堅も

被罷出候付、吸物・休共馳走いたし候事、

一 客人共相招屹度祝儀いたし候先例有之、上(下カ)

やしき中相招、茶々請馳走相祝候事、

但、旅日記ニ相記候故、略ス、

一 同日夜之四ツ時分、佐渡山親方乗船入津、

一 十三日、仲村親方罷出承候者、去卯年上国之時
旅料及不足、郷田源兵衛殿方錢五万貫文借入、
其外故湧川里之子親雲上・故漢那親雲上・故名嘉地親雲上
などと借入いたし、凡拾壹万貫文餘ニ及、右之返濟方
一 一入見当無之、近年中子息仲村渡唐
役者共被仰付候ハ、兎角返濟之手当も可罷成与
存候処、当分之功勞ニ而者渡唐役者共被仰付
勲功無之、先方ハ每度嚴敷預催促必至与
及迷惑候、然者先方為及当迫家屋敷共持候付而ハ、
如何之事情間、一往仕切御暇乞ニ而家屋敷も
売払、借錢返濟方ニ差向候而ハ何様候哉与、

一 仲村親方は、去卯年上国之時、
旅料及不足、郷田源兵衛殿方、
其外故湧川里之子親雲上、
一 一入見当無之、近年中子息仲村渡唐
役者共被仰付候ハ、兎角返濟之手当も可罷成与
存候処、当分之功勞ニ而者渡唐役者共被仰付
勲功無之、先方ハ每度嚴敷預催促必至与
及迷惑候、然者先方為及当迫家屋敷共持候付而ハ、
如何之事情間、一往仕切御暇乞ニ而家屋敷も
売払、借錢返濟方ニ差向候而ハ何様候哉与、

承候付、右通大和人の借錢も及重高候間、油断成かたく、模合など二而返濟手当者
埒明申間敷、砂糖買入を以差登候ハ、三四ヶ年二者返濟埒明申管候間、家屋敷売払之儀取止二いたし可然由、相答候事、

一 伊江島砂糖買入之儀、下知役・さはくり共江も相頼置候処、奥平親方もも所望有之、
双方共成長ケ望之事二而、下知役・さはくり共江もいたしかたく候間、双方借錢高軽重を以員数相定、両惣地頭をも代錢差替を以所望相達候様相調申管候由申候付、双方共地頭無拋間柄之事候間、弥其通申渡相濟管候由、相答候事、

一 十四日、本部王子御帰帆始而被成御来駕候付、御菓子・御茶差上、御吸物・三献上、御盃頂き暫御咄申上、御帰被成候事、

一 十九日、月湛長老下やしきニ碁打ニ招上、被成御出囲碁いたし候処、不出来二而一番勝三番負候事、
一 宜寿次親方・佐久本里之子親雲上も相招、被罷出候事、
一 一いり米之めし・さりととうふ・散砂糖相付御馳走いたし候事、

一 同日、二才共話之者共毎月揚字申付候処、手本所持

今日、傍より、下、方、儀、方、親、方、御、右、筆、主、取、
島袋、親、雲、上、江、書、認、被、給、度、相、頼、奉、書、紙、十、卷、
差、遣、置、候、処、書、調、今、日、持、參、被、給、候、付、厚、礼、謝、
申、述、菓、子、吸、物、馳、走、い、た、し、候、事、

一、右、礼、二、散、砂、糖、進、度、候、処、当、分、払、底、不、有、合、
候、間、新、砂、糖、出、來、次、第、進、可、申、段、申、入、置、候、事、

一、鳥、袋、事、当、分、御、狀、清、書、之、時、分、二、而、繁、多、
之、筈、候、間、隙、次、第、被、書、調、度、相、頼、置、候、処、

被、懸、心、頭、早、々、染、筆、御、持、來、別、而、忝、次、第、二、而、
愚、筆、之、字、一、枚、相、讓、候、事、

一、十九、日、真、玉、橋、親、方、珍、敷、菓、子、被、下、候、付、習、日、賦、
を、以、御、礼、差、遣、候、事、

一、廿、日、仲、村、里、之、子、親、雲、上、方、永、伝、記、門、中、和、睦、記、相、し、ら、へ、
持、參、私、明、日、相、し、ら、へ、候、様、承、候、事、

一、廿、二、日、宜、寿、次、江、罷、出、親、方、江、相、尋、候、者、此、程、方、々、江、
借、錢、之、儀、大、和、人、之、借、錢、ハ、皆、同、返、済、い、た、し、候、由、

先、日、佐、久、真、里、之、子、親、雲、上、方、首、尾、承、居、候、処、御、当、地、人、之、
借、錢、ハ、何、分、程、相、残、候、哉、与、相、尋、候、処、到、此、比、も、模、合、

払、錢、な、と、相、滞、及、世、話、候、処、德、浜、里、之、子、親、雲、上、錢、持、合、候、由、
承、老、万、貫、文、八、千、貫、二、米、一、俵、ツ、之、利、二、而、借、い、た、し、

凡、三、万、五、千、貫、餘、二、及、利、米、三、十、五、俵、ほ、と、相、払、
申、(由、カ)承、候、事、

申、(由、カ)承、候、事、

申、(由、カ)承、候、事、

申、(由、カ)承、候、事、

申、(由、カ)承、候、事、

申、(由、カ)承、候、事、

一 女三指任合堂親方嫡子思次郎、先日家鳩
 之子望三付、二羽もたせ相讓候付、右札ニ罷出候付、
 菓子馳走いたし、始而參り候付、和扇子一本相讓□□、
 一 廿四日、知念る田いも到来ニ付、例之通散砂糖差遣
 候事、

一 同日、去年宮古島伊良部首里大屋子る愚筆
 壽之字懇望之由、垣花親雲上る承趣有之、書認置候処、
 三男浦崎筑登之親雲上を以催促有之候付、浦崎江相渡候事、
 一 廿五日、先日宮古島伊江にや江壽之字相認相讓候
 約束仕置、此間染筆いたし候付、差遣候考候処、
 今日伊江にや罷出候付、直ニ相讓候事、
 但、砂川與人江伝言いたし度儀有之、あら
 まし申達、委細之儀ハ帰帆前可相達由、
 申達置候、

一 廿八日、幸地親方帰帆前罷出、御家内人数御待兼
 被成筈ニ而、いづれも私宅江招上御慰被成候事、
 一 御家内人数惣中御出、四男幸地里之子親雲上ハ
 間切江用事ニ而差越、不罷出候事、
 一 昼間私々しゆもち・黄粉もち小平
 中皿相付、御馳走いたし候事、
 一 晩ハ手引一之料理、間之吸物・取肴・東道盆
 差出候事、

一 女八日幸地親方爲儀、あつちか、け家の人数以
 被成筈ニ而、いづれも私宅江招上御慰被成候事、
 一 御家内人数惣中御出、四男幸地里之子親雲上ハ
 間切江用事ニ而差越、不罷出候事、
 一 昼間私々しゆもち・黄粉もち小平
 中皿相付、御馳走いたし候事、
 一 晩ハ手引一之料理、間之吸物・取肴・東道盆
 差出候事、

一 廿三日、伊舎堂親方嫡子思次郎、先日家鳩
 之子望三付、二羽もたせ相讓候付、右札ニ罷出候付、
 菓子馳走いたし、始而參り候付、和扇子一本相讓□□、
 一 廿四日、知念る田いも到来ニ付、例之通散砂糖差遣
 候事、

一 同日、去年宮古島伊良部首里大屋子る愚筆
 壽之字懇望之由、垣花親雲上る承趣有之、書認置候処、
 三男浦崎筑登之親雲上を以催促有之候付、浦崎江相渡候事、
 一 廿五日、先日宮古島伊江にや江壽之字相認相讓候
 約束仕置、此間染筆いたし候付、差遣候考候処、
 今日伊江にや罷出候付、直ニ相讓候事、
 但、砂川與人江伝言いたし度儀有之、あら
 まし申達、委細之儀ハ帰帆前可相達由、
 申達置候、

一 廿八日、幸地親方帰帆前罷出、御家内人数御待兼
 被成筈ニ而、いづれも私宅江招上御慰被成候事、
 一 御家内人数惣中御出、四男幸地里之子親雲上ハ
 間切江用事ニ而差越、不罷出候事、
 一 昼間私々しゆもち・黄粉もち小平
 中皿相付、御馳走いたし候事、
 一 晩ハ手引一之料理、間之吸物・取肴・東道盆
 差出候事、

一 幸地供之者共惣中、夜飯馳走いたし候事、
一 卅日、孫次郎事、私相素立彼是教訓いたし候筋
兼而相談仕置候処、今日吉日ニ而以後私養育
いたし候付、祝候而上下やしき中相招煖庫之
品々煮調、吸物・茶請共馳走いたし候事、
未
三月中

一 幸地供之者共惣中、夜飯馳走いたし候事、
一 卅日、孫次郎事、私相素立彼是教訓いたし候筋
兼而相談仕置候処、今日吉日ニ而以後私養育
いたし候付、祝候而上下やしき中相招煖庫之
品々煮調、吸物・茶請共馳走いたし候事、
未
三月中

一 朔日、門中和睦永鑑・永伝記、先日仲村里之子親雲上江
しらへ方相頼置候処、存寄之所添消、目錄
仕合中清いたし、去月廿日比持来、私得与相しらへ
候様ニ与承、今日しらへ取付候事、
一 十二月朔日、月湛長老を金城にや御使を以被仰聞
候者、今日ハ天氣も長閑ニ有之候間、御寺江碁打
罷出被仰聞、先日も御招有之候得共御断いたし、
猶又御断申上候儀近頃不本意儀候得共、明日
年回ニ付而取込有之候間、残念ながら御断申上候段、
御返答いたし候事、

二月申

一 朔日、門中和睦永鑑・永伝記、先日仲村里之子親雲上江
しらへ方相頼置候処、存寄之所添消、目錄
仕合中清いたし、去月廿日比持来、私得与相しらへ
候様ニ与承、今日しらへ取付候事、
一 十二月朔日、月湛長老を金城にや御使を以被仰聞
候者、今日ハ天氣も長閑ニ有之候間、御寺江碁打
罷出被仰聞、先日も御招有之候得共御断いたし、
猶又御断申上候儀近頃不本意儀候得共、明日
年回ニ付而取込有之候間、残念ながら御断申上候段、
御返答いたし候事、

一 親方より何事候様言はれ候へば、
六日、本龍寺より御招有之、宜寿次親方同心三而

御召候事

一 茶一包 鶴之森 一 散砂糖一重

一 濱川里之子親雲上・村吉里之子親雲上被罷出候事、

一 長老与三番、浜川与二番囲碁いたし候処、

殊之外不出来ニ而負候事、

一 八日、吉日ニ而恵樽髪撫、

弁財天拜せ罷歸候付、御靈前御焼香ニ而拜せ、

後ノ家江いたき参り候而、例之通馳走いたし候事、

一行逢父天願里之子親雲上相頼、さうめん之吸物御馳走、

祝候付二本入扇子一箱進候事、

一 あんしたれ乳母之足亀あん、座ニ登せ千餅

菓子・さうめん之吸物馳走いたし候事、

一 右相済、あんしたれ共之者共迄杓取、引出物

例之通り候事、

一 同日、親方事學問出精可致旨、去亥十一月段々書付を以

相頼、要務彙編相習候約束仕置候由申出候付、

一 私罷出候ハ、宜寿次親方も御招被成筈之由、

罷出、碁打候事、

此品進候
一 茶一包 鶴之森 一 散砂糖一重

一 昼間もち砂糖煮、はん茶めし御馳走有之候事、

一 濱川里之子親雲上・村吉里之子親雲上被罷出候事、

一 長老与三番、浜川与二番囲碁いたし候処、

殊之外不出来ニ而負候事、

一 八日、吉日ニ而恵樽髪撫、

弁財天拜せ罷歸候付、御靈前御焼香ニ而拜せ、

後ノ家江いたき参り候而、例之通馳走いたし候事、

一行逢父天願里之子親雲上相頼、さうめん之吸物御馳走、

祝候付二本入扇子一箱進候事、

一 あんしたれ乳母之足亀あん、座ニ登せ千餅

菓子・さうめん之吸物馳走いたし候事、

一 右相済、あんしたれ共之者共迄杓取、引出物

例之通り候事、

一 同日、親方事學問出精可致旨、去亥十一月段々書付を以

右書物上巻相渡候事

一 翌九日、読書相始候由

九日、下やしき江月湛長老・宜寿次親方・村吉

里之子親雲上招上基會いたし、夜之五ツ過時分歸宅、

一 昼間料理さうめん、晩茶めし御馳走いたし

候事、

一 此中両三度、長老与碁打候処、一番も勝

不申候処、今日ハ六番打四番ハ私勝候事、

一 宜寿次・村吉數番被打候処、大概相手与相見得

候事、

一 孫かめ・次郎も罷出候事、

一 十一日、去朔日、永伝記しらへ取付、今日迄見終、猶又

今日を再しらへ取付候事、

一 同日、九ツ時分読谷山御殿御墓御焼香参上仕候事、

一 北源御茶一包・つゝ、さ・朱らん之花持参、差上

候事、

一 右相濟、下やしきニ罷越、月湛長老・宜寿次

親方・村吉里之子親雲上招上囲碁いたし、昼大吸物

晩一汁二菜之夜飯御馳走いたし候事、

一 十三日、砂川与人江相讓候陰徳之文一枚、晋

七賢之うた一首書付一枚、先日屋嘉筑登之江表具相頼

置候処、成就ニ而今日城間筑登之持登相届候、

右書物上巻相渡候事、

一 翌九日、読書相始候由、

九日、下やしき江月湛長老・宜寿次親方・村吉

里之子親雲上招上基會いたし、夜之五ツ過時分歸宅、

一 昼間料理さうめん、晩茶めし御馳走いたし

候事、

一 此中両三度、長老与碁打候処、一番も勝

不申候処、今日ハ六番打四番ハ私勝候事、

一 宜寿次・村吉數番被打候処、大概相手与相見得

候事、

一 孫かめ・次郎も罷出候事、

一 十一日、去朔日、永伝記しらへ取付、今日迄見終、猶又

今日を再しらへ取付候事、

一 同日、九ツ時分読谷山御殿御墓御焼香参上仕候事、

一 北源御茶一包・つゝ、さ・朱らん之花持参、差上

候事、

一 右相濟、下やしきニ罷越、月湛長老・宜寿次

親方・村吉里之子親雲上招上囲碁いたし、昼大吸物

晩一汁二菜之夜飯御馳走いたし候事、

一 十三日、砂川与人江相讓候陰徳之文一枚、晋

七賢之うた一首書付一枚、先日屋嘉筑登之江表具相頼

置候処、成就ニ而今日城間筑登之持登相届候、

一右賃付届之事

十四日、今日清明之節、例之通門中方々、
所奉御祭礼、本所之事

十八日、去十日、清明、首之、以時辰、
所奉御祭礼、本所之事

見廻、夫より下やしきニ差越、入相時分罷帰候事、
一瀬底江和茶一包、刻たはこ六折、家内人数江

一瀬底江和茶一包、刻たはこ六折、家内人数江
進候事、

一同所々ふた、いりこ取合煮調、筭寒ニ大吸物
馳走有之候事、

一下やしきニ而手ならひ共いたし、貞觀政要
見候事、

一次郎も昼時分罷出、慰候而私相列帰宅、
一同所うら座江間渡用唐金竹壺本

池原もらい、間渡仕合候事、
同日、玉城按司親方為御錢別、間切江被罷下候事、

一右賃付届之事、

一十四日、今日清明之節ニ而、例之通門中方々之
御墓御祭礼相濟候事、

一十八日、去十四日清明之節ニ而、四ツ時分石嶺江
差越、此方宜寿次・真志喜御墓所参上、つ、き

之花差上御焼香仕、戻りニ瀬底親雲上新宅

見廻、夫より下やしきニ差越、入相時分罷帰候事、
一瀬底江和茶一包、刻たはこ六折、家内人数江

進候事、

一同所々ふた、いりこ取合煮調、筭寒ニ大吸物

馳走有之候事、

一下やしきニ而手ならひ共いたし、貞觀政要

見候事、

一次郎も昼時分罷出、慰候而私相列帰宅、

一同所うら座江間渡用唐金竹壺本

池原もらい、間渡仕合候事、

同日、玉城按司親方為御錢別、間切江被罷下候事、

嘉慶十六年辛未

三月申

正月二月者虫入二付、写方不罷成故、略ス

一十九日、前川里之子親雲上・喜久里里之子招呼申置候ハ、昨日
 石嶺江罷越家見分いたし候処、大破相成大風吹出
 候ハ、危相見得候間、当分之家ニ而台所作調、大屋者
 九月比作候而者何様候哉、相談を以可申出旨、相達候事、
 一廿一日、蒲戸事、当分寸隙を惜手習学問出精不致
 候而不叶事候処、去何日比久場川之御殿江罷出不申、
 毎日囲碁歌三味線ニ而、徒ニ日を暮し候付、出勤
 不仕内者毎朝私を讀書いたし候様申付候事、
 一同日、羽地王子御乗船入津、

嘉慶十六年辛未

三月申

正月二月者虫入二付、写方不罷成故、略ス

一十九日、前川里之子親雲上・喜久里里之子招呼申置候ハ、昨日
 石嶺江罷越家見分いたし候処、大破相成大風吹出
 候ハ、危相見得候間、当分之家ニ而台所作調、大屋者
 九月比作候而者何様候哉、相談を以可申出旨、相達候事、
 一廿一日、蒲戸事、当分寸隙を惜手習学問出精不致
 候而不叶事候処、去何日比久場川之御殿江罷出不申、
 毎日囲碁歌三味線ニ而、徒ニ日を暮し候付、出勤
 不仕内者毎朝私を讀書いたし候様申付候事、
 一同日、羽地王子御乗船入津、

御方親方御祝儀ニ参上、懸御目候付、私より御祝儀

申上候事、
一廿四日、比嘉筑登之親雲上相招、上原按司御室承候趣、委曲相頼候事、

但、此間小那覇里之子親雲上相招候処、不罷出候付、本文之通

一廿五日、富盛祖母信仰仕候

御神、此程御相談之通、今日伊江御殿江御移被成候事、

一御三所□□御神江、御靈供差上、私始孫共迄御拝相勤候事、

一御棚御道具ハ、酉時分御殿江もたせ上候事、

一御迎之安駄参候付者、右安駄ニ御香爐壹ツ、

花活一对、御饗仕、

御神美御遣、御先 灯燈一对、御殿参り候

上江洲子御先ニ而、夜之五ツ時分御発駕□

候事、

一前川親雲上妻・富盛祖母・孫蒲戸・亀・次良

供奉仕候事、

一御発駕之時、私・親方、門内へ罷出つくはい、御一礼

手を合候事、

但、伊江里之子なども御迎罷出申答候処、義村王子

御娘、三ツ成者天亡ニ付、不罷出候事、

御方親方御祝儀ニ参上、懸御目候付、私より御祝儀

申上候事、
一廿四日、比嘉筑登之親雲上相招、上原按司御室承候趣、委曲相頼候事、
但、此間小那覇里之子親雲上相招候処、不罷出候付、本文之通
一廿五日、富盛祖母信仰仕候
御神、此程御相談之通、今日伊江御殿江御移被成候事、
一御三所□□御神江、御靈供差上、私始孫共迄御拝相勤候事、
一御棚御道具ハ、酉時分御殿江もたせ上候事、
一御迎之安駄参候付者、右安駄ニ御香爐壹ツ、
花活一对、御饗仕、
御神美御遣、御先 灯燈一对、御殿参り候
上江洲子御先ニ而、夜之五ツ時分御発駕□
候事、
一前川親雲上妻・富盛祖母・孫蒲戸・亀・次良
供奉仕候事、
一御発駕之時、私・親方、門内へ罷出つくはい、御一礼
手を合候事、
但、伊江里之子なども御迎罷出申答候処、義村王子
御娘、三ツ成者天亡ニ付、不罷出候事、

一 御殿江此方を参上仕候人数、供之者迄夜めし

御馳走為有之由、

同日、吉日三而室丸葉始而相用候事、

但、四月廿五日迄吞取候事、

一 廿六日、幸地親方乗船、去何日本部間切江汐懸、今日

陸地被罷登候付、親方者平良村はつり、蒲戸者浦添

番所罷越、御迎仕候事、

但、私者、前川里之子親雲上御祝儀申入候事、

一同日、慶良間在番川平親雲上、親方来年頭

御使者被仰出候為祝儀、左之通到来ニ付、返礼之事、

一 書状□□通 一屋久かい五ツ

閏三月中

一 二日、森田二□之事、去年麻疹之時分引入、其後段々

家内不幸之儀共有之、罷出申由三而、今日下屋敷ニ見廻

有之候事、

一 六日、御奉行洪谷喜三次右衛門御式正御招受ニ而候処、

上様御穰氣与風御差発、御対面被遊候御氣色御座

なく、はや御奉行役々衆御客屋被成御着ニ而、按司・三司官

殊之外及御世話御客屋江も両度御越段々御相談

有之、御奉行御始役々衆御登 城被成、御料理迄被召上

御退城被成候由、

一同十二日、鐘行烈人数為仕組方、昨日より此方江相揃候付、

一 御殿江此方を参上仕候人数、供之者迄夜めし

御馳走為有之由、

一 廿六日、幸地親方乗船、去何日本部間切江汐懸、今日

陸地被罷登候付、親方者平良村はつり、蒲戸者浦添

番所罷越、御迎仕候事、

但、私者、前川里之子親雲上御祝儀申入候事、

一同日、慶良間在番川平親雲上、親方来年頭

御使者被仰出候為祝儀、左之通到来ニ付、返礼之事、

一 書状□□通 一屋久かい五ツ

閏三月中

一 二日、森田二□之事、去年麻疹之時分引入、其後段々

家内不幸之儀共有之、罷出申由三而、今日下屋敷ニ見廻

有之候事、

一 六日、御奉行洪谷喜三次右衛門御式正御招受ニ而候処、

上様御穰氣与風御差発、御対面被遊候御氣色御座

なく、はや御奉行役々衆御客屋被成御着ニ而、按司・三司官

殊之外及御世話御客屋江も両度御越段々御相談

有之、御奉行御始役々衆御登 城被成、御料理迄被召上

御退城被成候由、

一同十二日、鐘行烈人数為仕組方、昨日より此方江相揃候付、

本座□置取起、頭衆御出被成候ハ、裏座三者相詰不申筈
 二而、後之座諸道具取治、私者かり二階六畳敷二引移候事、
 一 本文之通仕置候処、後之座者不最寄二而頭衆者
 大庫里二被罷居候付、本之□相直候事、
 一十三日、前川里之子親雲上召寄申付候者、石嶺受地之儀、御墓
 之透間有之、風水之為不宜候間、諸木植茂候様取計得、
 其外箱川辺山野、場所見合小松植付候様、兼々申付
 候へ共、其守達無之、当分之番人鳥袋了簡迄二而者、埒明
 申間敷、供之者共一人相詰させ候様□相考候処、是又二三ヶ月三致
 交代事二而、諸事最通不申筈候間、誰か下知人一人相頼候而者
 何様候哉、吟味いたし申出候様、申付候事、
 一 同日、垣花筑登之親雲上木遣勤二付而被罷出、暫逢申候付、私相頼
 候者、此方去々年以來那霸人仲村渠・新垣与申者相抱召遣
 候処、別而出精相勤、当二月二者兩人共五主役・旅役之間
 相勤候付、渡唐之方段々仕頼候処、各無扱者共多年召遣候□
 有之由二而相達不申候、夫二付而相考候処、いつ方江も無扱由緒之者
 又者多年御遣候者共罷居申筈候へ者、夫者召除与風願出候^(者方)
 引進候様二者罷成間敷、此方御頼も甚無心之至存候、乍然
 兩人共長々召遣、為及迷惑候而者別而如何之儀、御手前□来年ハ
 御当り前二可被成候間、仲村渠儀人体も慥成者二而候間、可成程者
 当分召遣とふか宜御取計候得被給度由、申入候事、
 一 主従五人之内、供兩人者無扱者罷居、五主願意者無□□二而

申上候者、自分共事当分御側御遣相勤
 候付而者、此節木遣り者罷出不申筈与存候処、仲村里之子・
 沢岷里之子・自分者木遣中御側之勤御免ニ而候付
 候間、相勤候様可申達旨、山川里之子江
 御意成下候段、昨日山川江承知仕候段承候付、今日親方・仲村里之子
 親雲上・佐久真里之子親雲上相招相談仕候処、右通
 御意御座候付而者、是非共木遣り不申候而者不叶筈候、
 蒲戸・仲村・次ら者さい人□被召加相応仕筈候間、久志
 親方江相談させ可然与申談、仲村を以久志親方江右之
 趣申入候処、□□も相談を以差遣申筈候間、様子次第
 早速罷出候様被申付置由、返答有之候事、
 一十六日、三平等・那覇・久米村・泊御才木始而引登
 候付、何れも仲村渠宅江罷出致見物候事、
 一十七日、下屋敷ニ罷越居候処、月湛長老・老人富盛
 親雲上御見廻、緩々致御咄候事、
 一十八日朝、比嘉筑登之親雲上罷出承候者、御所帯方与那城
 間切江相渡候雜物代錢之儀者、先日私承候趣、主取
 筆者衆江相談いたし候付、主取始いつれも別而肝煎被致、
 当時御所帯方江も御当迫之時分ニ而、皆同一時ニ
 相渡候様ニ者不罷成、廻合次第内場相渡候筋被致相談、
 今日□□候へ者、相渡筈候間、上原按司□上させ候様

□罷居不申由、

一十四日、蒲戸申出候者、自分共事当分御側御遣相勤
 候付而者、此節木遣り者罷出不申筈与存候処、仲村里之子・
 沢岷里之子・自分者木遣中御側之勤御免ニ而候付
 候間、相勤候様可申達旨、山川里之子江
 御意成下候段、昨日山川江承知仕候段承候付、今日親方・仲村里之子
 親雲上・佐久真里之子親雲上相招相談仕候処、右通
 御意御座候付而者、是非共木遣り不申候而者不叶筈候、
 蒲戸・仲村・次ら者さい人□被召加相応仕筈候間、久志
 親方江相談させ可然与申談、仲村を以久志親方江右之
 趣申入候処、□□も相談を以差遣申筈候間、様子次第
 早速罷出候様被申付置由、返答有之候事、
 一十六日、三平等・那覇・久米村・泊御才木始而引登
 候付、何れも仲村渠宅江罷出致見物候事、
 一十七日、下屋敷ニ罷越居候処、月湛長老・老人富盛
 親雲上御見廻、緩々致御咄候事、
 一十八日朝、比嘉筑登之親雲上罷出承候者、御所帯方与那城
 間切江相渡候雜物代錢之儀者、先日私承候趣、主取
 筆者衆江相談いたし候付、主取始いつれも別而肝煎被致、
 当時御所帯方江も御当迫之時分ニ而、皆同一時ニ
 相渡候様ニ者不罷成、廻合次第内場相渡候筋被致相談、
 今日□□候へ者、相渡筈候間、上原按司□上させ候様

承候事

一 仲尾次子原御殿江差遣、右通相成候間、受取方

可被仰付由申上候処、愈其御心得可被成段、御返答承候事、

一 錢御藏頭之儀、前役当役江いまた次渡無之由、被

聞召候間、只今勤随佐久川里之子親雲上御呼せ相談させ

可申与、御考被成候由、

一 十九日、亥年豊見城より致借候尊円尊朝之手本

五さつ、仲尾次子を以致返弁候事、

一 尊朝風手本一卷□敷写させ候間、写取次第

相帰可申旨申遣置候事、

此方差遣置候手本者、緩々御□相濟

次第可被差遣旨、申遣候、

一 廿日、私書物帳留之通、虫払干そかし用下屋敷

番並里にや江引渡候事、

一 廿一日、美里王子より大親浜川親雲上御使

を以被仰下候者、宮里按司御事、宜野湾王子

御猶子之御相談相濟、昨晚宜野湾御殿江

御引越被成候、此段御知し被成候段、承知仕候事、

一 右之段、宜寿次親方・仲村親方江も可□達

せ被仰下候由、
一 右之段、早々御知せ被仰下、被入御念難有奉存候
いまた言上者相濟不申候へ共、御内々参上を以

御祝儀申上度候処、此内々湿気差免、参上
難仕候間、先寄参上御祝儀可申上段、御返詞
申上候事、

一未言上相済不申候へ共、此方・宜寿次・仲村より
御内々御祝儀申上候方可然与申談、上間
あ護したれ差遣申上候事、

四月申

一二日、故うしあん事、夫島袋も六十一歳罷成老体事二而、
不便之至候故、今日差免為致帰家候事、

一右三付、左之通くり候、上下屋敷中
(左の品書なし)

前川なども品々被給候事、

五月・六月者虫入二付、写方不罷成故略ス、

七月申

一二日、本立寺長老老々碁会御催有之、四ツ時分罷出
致囲碁共、酉時分用事出来罷帰候事、

一宜寿次親方も亀相烈罷出候様、一昨日下屋敷二而
被仰聞、罷出候事、

但、村吉里之子親雲上も被罷出候付、村吉先二而一昨日四番
勝方二而一ツ二罷成候処、二番者用捨二而、今日先二而

二番打候処、二番共私勝、二ツ二被成候事、
小平二鶴之子・糸瓜二而吸物出、昼間者薑白菜

□と申料理御馳走有之、味宜敷別而珍敷

一御主守若むら老々碁会御催有之、少時分罷出
致囲碁共、酉時分用事出来罷帰候事、

一宜寿次親方も亀相烈罷出候様、一昨日下屋敷二而
被仰聞、罷出候事、

但、村吉里之子親雲上も被罷出候付、村吉先二而一昨日四番
勝方二而一ツ二罷成候処、二番者用捨二而、今日先二而

二番打候処、二番共私勝、二ツ二被成候事、
小平二鶴之子・糸瓜二而吸物出、昼間者薑白菜

お茶の候事

初茶の候事
お茶の候事
お茶の候事

一 唐素めん砂糖煮二而、小皿二梅干御安進迄差上候事、
一 十日、前川親雲上事、先日罷出承候者、十六年成辰年
前川親方御臨終之時も早々返弁仕候様、御遺言有之
候処、延引罷成、近比不本意儀二候、利平相弁候ハ、過分
二及筈候へ共、夫迄者不及手式候間、本計返弁受取度由
申候付、私も抑覚不申、最早庫理方江も何そ書留も
無之筈候間、返弁不及由相答候処、今日右返弁二銭式百貫文
差遣候処、右借渡候時分ハ私も御役目相勤候時分二而、僅之
員数合力之心入を以相渡、受取等も無之筈与存候間、不及
返弁二由二而差帰候事、
一 十一日、前文之通昨日前川方差遣候銭式百貫文差帰置候処、
今日室方用事二而おた前川江差遣候付、むたしや。

一 唐素めん砂糖煮

一 十日、前川親雲上事

前川親方御臨終之時

候処、延引罷成

二及筈候へ共

申候付、私も抑覚不申

無之筈候間

差遣候処

員数合力之心入

返弁二由二而

十一日、前文之通

今日室方用事

お茶の候事

ありし中より、おた江に申上候に、おた江に申上候儀、自分之
 所存意味違ニ而申上錢御差婦迷惑仕候、右錢之儀去辰年
 致御借候米御返弁之心入を以もたせ上候筋ニ而ハ無之候、
 彼家内之儀、段々此方蔭を以相立、就中前川親方
 二十余年引籠御奉公も不相勤、最早此俣ニ而一世相絶
 可申与、老母を始甚及世話候処、私各段々教訓を以去年
 何月外向徘徊いたし、無間も奉行職をも被仰付出精
 相勤、木遣り之時分も一日も無懈怠罷出、老母を始一家
 無此上喜悦不斜次第ニ而、右御厚礼之心入を以(多力)少錢
 私夫婦江扶持之初進申度所存ニ而持たせ上為之事候間、
 とうか取納いたし度由ニ而、おた江錢式百貫文相渡持来候付、
 心入之次第委曲承候、此上者差婦候様ニもいたしかたく、翌十二日
 おた差遣、厚心入之段承届、別而忝笑納いたし候、尤先年
 借渡候米一俵者相讓候間、返弁ニ不及由、前川夫婦江可相達由
 申付遣候事、
 但、本文之趣者直ニ罷出申上候而進申答候処、家中段々
 病人有之、本文之通之由、断有之候、
 一親方事、来年上国ニ付而、伊江島照泰寺掟神御宮江
 致参詣立願仕度所存有之、来八月初比罷下申入通ニ而候処、
 鳥之儀別而困窮之時節ニ而、造作ケ間敷儀共有之候而者
 如何之儀ニ而、下知役・さはくり共□左之通書付相調、首里大屋子
 内田筑登之江口達ニ而委細申含、書付相渡候事、

一十九日、私事益比左表あくら骨之下引つり、立居進退
難儀之体二而、今日いしや栗国里之子相招致服薬候事、

一廿五日、仲村親方事、此程物入之勤方打続、御使者之勤等二付
負荷大分成立、家内当迫之事情処、此節木遣り二付而も

段々物入有之、且当分御普請足奉行被仰付、是又
物入も有之、必至与当迫之段承、少々之補も相成候へかし与、
左之通合力いたし候事、

一錢五百貫文

八月申

一当月中日記、私病氣二付相記不申候間、看艦頭書
など見合相調可申答候、

九月申

一四日、次男浦崎筑登之親雲上罷出候付申達候者、御自分事来年ハ
渡唐当前ニ相成候半与存候、就夫此前も致沙汰候通

那覇新垣にや事、長々此方奉公入念相勤候者ニ而候処、
来年渡唐類ニ相願候、御方も段々由緒之者も罷居答

二而御無心之至ニ存候へ共、人体者髓之者候間どうか五主供之内ニ
被相考度、万々頼入候由、相達候事、

一同日、垣花親雲上る私・悴兩人ニ而瀬底里之子差遣申入候者、
御自分事来年者渡唐当前ニ相成候半与存候、就夫先比も

あらまし御沙汰いたし候通、那は仲村渠事此程長々此方
奉公入念相勤、無拗者ニ而候故、来年渡唐類ニ願居候間、

一、御前へ申上候處、先日も委細被仰聞趣有之相考候處、彼ノ
 家内之儀此比不幸之儀共打続、家内極々及当迫候折節ハ、
 当村石川筑登之親雲上与申者段々肝煎を以、米錢共寄替
 相渡恩義有之者候處、彼ノ聳何某五主願有之、垣花
 肝煎を以願相成候積之ニ而、段々無拋承趣有之、是又□
 かたく儀ニ而、いまた何様ニも考相付不申候間、乍然願通
 旅被仰付候ハ、其節得与相考可申与、いまた何様も相決
 不申候間、其段可申達旨返答有之、垣花段々被申渡
 承候へ者、仲村渠願意者余程かたき模様も相見得
 候由、瀬底申候、
 一、同日、今日吉日ニ而親方玉城按司・宜寿次親方誘上ケ
 其外旅人数相烈、普天間參詣いたし候事、
 一、此節者例年之御願又旅御願も仕候事、
 但、願書者弁之嶽、例之通相調候事、
 一、普天間參詣相濟罷歸候而祝候付、素めん吸物出候
 先例候處、今般者旅之立願もいたし候付、雜煮之

御前御座候御座候御座候

一 夜入候而罷歸候付、いづれも夜飯致馳走候事、

一 十日、私諸用弁達方又者内証物首尾方之儀、仲尾次

し勤職ニ申付置候処、女共諸用も都而仲尾次子江申付

候付、至而繁多之勤ニ而何敷不行届儀も出来可申哉、世話ニ

存候間、御方江も面働之至候へ共、仲尾次助力ニ而諸事

相弁度頼存候、以上、

九月十日

森田筑登之

朝睦

一同十三日、去月八日宜野灣王子様御懷八十八

御祝ニ付而御料理被下、同日御手制之□□□□

一ツ被下置段々難有次第候処、其比私も□□□□

引入居候付、御祝儀も不申上そはかき被下候御礼も

不申上、旁御失礼罷過候、夫ニ付而相考候処、最早

日数も過去候付而者、御祝儀ニ品物など差上候様ニも

難仕候間、王子様并御懷様奉伺御安否御双方江

御菓子差上候而可然哉与、到今日御与力野村里之子親雲上

相招致相談候処、私考之通御双方江御安否御尋

申上、御菓子差上可然由申候付、則前川里之子親雲上召寄

手当申付候事、

一來ル十六日二者御奉行御招受ニ付而御取□
候間、御菓子相調次第十五日又者十七日□差上可然由

御前御座候御座候御座候
一 夜入候而罷歸候付、いづれも夜飯致馳走候事、
一 十日、私諸用弁達方又者内証物首尾方之儀、仲尾次
し勤職ニ申付置候処、女共諸用も都而仲尾次子江申付
候付、至而繁多之勤ニ而何敷不行届儀も出来可申哉、世話ニ
存候間、御方江も面働之至候へ共、仲尾次助力ニ而諸事
相弁度頼存候、以上、
九月十日
森田筑登之
朝睦

御前御座候御座候御座候

一同十三日、去月八日宜野灣王子様御懷八十八

御祝ニ付而御料理被下、同日御手制之□□□□

一ツ被下置段々難有次第候処、其比私も□□□□

引入居候付、御祝儀も不申上そはかき被下候御礼も

不申上、旁御失礼罷過候、夫ニ付而相考候処、最早

日数も過去候付而者、御祝儀ニ品物など差上候様ニも

難仕候間、王子様并御懷様奉伺御安否御双方江

御菓子差上候而可然哉与、到今日御与力野村里之子親雲上

相招致相談候処、私考之通御双方江御安否御尋

申上、御菓子差上可然由申候付、則前川里之子親雲上召寄

手当申付候事、

一來ル十六日二者御奉行御招受ニ付而御取□
候間、御菓子相調次第十五日又者十七日□差上可然由

野村申候

一 御菓子者私考之通王子様江かすてら御

さんすかう差上可宜由、野村(甲九)候、

十五日、宜野湾御殿江差上候御菓子相調候付、

佐久真里之子親雲上を以、御与力野村里之子親雲上相談を以差上

候様申付遣候処、王子様御始御女中様方、此間御間切江

御差越被成候付、今朝御迎□差遣候処、いまた御帰殿

不罷成、明日者御奉行御招請ニ付而、今日中御登

被成積候間、御菓子者重箱共其俣可差上置候、御帰殿

次第遂披露、移箱者明後日御殿△差帰候由□□□□

野村預置候由、

一同日、富盛親雲上祖母・知念・玉城其外方々御願所

為參詣出立いたし候事、

一十七日、宜野湾王子様より御与力野村里之子親雲上御使を以、

一昨日者結構成御菓子御両所江差上、心入之程忝被思召

由、御礼被仰下候事、

一同日、下代宮城一昨日五□三而打立、今日入相時分

罷登、此書状相届候、

去九日之尊書、十二日九ツ時分相届拜見仕候、父母様

弥御勇健、御病気も日増御□快被成御座、上下(順)

御屋敷中并一門親類衆江も御安全之由、珍重□□

奉存候、次三家内中も皆無異之由□□□□□□□□□□□□□□□□

一 御菓子者私考之通王子様江かすてら御
さんすかう差上可宜由、野村(甲九)候、
十五日、宜野湾御殿江差上候御菓子相調候付、
佐久真里之子親雲上を以、御与力野村里之子親雲上相談を以差上
候様申付遣候処、王子様御始御女中様方、此間御間切江
御差越被成候付、今朝御迎□差遣候処、いまた御帰殿
不罷成、明日者御奉行御招請ニ付而、今日中御登
被成積候間、御菓子者重箱共其俣可差上置候、御帰殿
次第遂披露、移箱者明後日御殿△差帰候由□□□□
野村預置候由、
一同日、富盛親雲上祖母・知念・玉城其外方々御願所
為參詣出立いたし候事、
一十七日、宜野湾王子様より御与力野村里之子親雲上御使を以、
一昨日者結構成御菓子御両所江差上、心入之程忝被思召
由、御礼被仰下候事、
一同日、下代宮城一昨日五□三而打立、今日入相時分
罷登、此書状相届候、
去九日之尊書、十二日九ツ時分相届拜見仕候、父母様
弥御勇健、御病気も日増御□快被成御座、上下(順)
御屋敷中并一門親類衆江も御安全之由、珍重□□
奉存候、次三家内中も皆無異之由□□□□□□□□□□□□□□□□

玉城按司御殿中無御替、列衆宿□□□□
段□之被仰下儀致御吹聴候處、被入御念□□
忝次第御挨拶私宜申上候様、按司被仰聞何方も
承申候、於爰許按司無御障いづれも岩主三罷出
申候、安尊意思召可被下候、昨十六日御立願仕筈候間、
□々罷登候日柄之儀者、飛船を以可申上候、下代宮城
罷歸候付、右之御□且吉左右為可申上如斯御座□□
誠惶誠恐謹言

九月十五日

伊江親方

父上様

父上様

參尊報人々御中

一十八日、富盛親雲上祖母・知念・玉城其外方々御願所

參拜相濟、入相時分罷歸候事、

但、昨日私・室・真鶴三人ニ而安否尋としてまんと

式百完苧器具器三積、下屋敷番知念にや差遣

進候事、

一廿一日、病氣致全快候付、下屋敷ニ罷越相慰、入相時分

罷歸候事、

一室・富盛祖母・真鶴・前川妻・上原御殿真錢

其外孫共惣中相烈候事、

一富盛祖母・前川妻を病氣全快□始而罷出□付、

□□とう□□持參、

玉城按司御殿中無御替、列衆宿□□□□
段□之被仰下儀致御吹聴候處、被入御念□□
忝次第御挨拶私宜申上候様、按司被仰聞何方も
承申候、於爰許按司無御障いづれも岩主三罷出
申候、安尊意思召可被下候、昨十六日御立願仕筈候間、
□々罷登候日柄之儀者、飛船を以可申上候、下代宮城
罷歸候付、右之御□且吉左右為可申上如斯御座□□
誠惶誠恐謹言

一 眞鶴をきんへん八寸壺重持参、
 一下人夫婦唐芋・鶴之子など煮調差出候□□
 刻多葉粉二折くり候事、
 一 廿二日、於島親方吉永にや飛脚差遣、今日
 入相時分書状持参相届候、島江御越被成候御人数御惣中
 何之御障も無御座、昨日日本部渡口江御出船被成候、自分ハ
 御出船少(タカ)前小船如泊出船何時分泊港致着候由、
 一 喜久里里之子前川里之子親雲上其外宛書を以到来之
 書面見届候処、首里御着之日者按司様御始
 惣中此方江御出被成候間、御三献差上、御夜食も
 御馳走仕候手当可申付由、
 一 夫八十五人・御越被成候衆御供十五人、二汁一菜
 二而夜飯致馳走候様申来候事、
 去十四日之尊書、十六日相届拝見仕候、先以父母様
 益御安泰被成御座、宜寿次・仲村其外一門親類御安全
 珍重御儀存候、次二家中皆息災可罷在珍重存候、父上様
 御不快日増御順快御座□御食事も漸々御進
 被召上候由、母上様御事も御腹合不宜、時々御吐御下
 抔二而、御気分も勝不申候処、森浜老煎薬御服用
 被成候□、御相応いたし、且内間姉□□中腕灸被成
 候処、是又御相応いたし御腹合御気分も宜候□□
 被成安御座候由、逐一承知仕、私首里出立之時分□□□

右之御紙迄拜見、最早可為御全快安心仕候、委之
 被仰下趣、殊更何れも様々当用之品々被遣忝
 仕合奉存候、猶又玉城按司御役中無御替、烈衆
 宿元も不相替由被仰下趣御吹聴申上候処、御安心
 之御事、私々御礼旁申上候様被仰聞候、於宿元按司
 無御障、私以下列之面々も息災罷在、去十六日
 御立願首尾克相勤、樂師旅之御結願をも相仕舞
 安心仕候、其日者上下屋敷中御揃、姉妹方も被召呼
 手を打躍始御祝被下候由、此方ニも何れ□之衆当役
 さはくり中相招皆相祝候□、於番所而総地頭供中
 似念仏共致見物祝儀仕候、御尊名此島之海辺之
 所ニ而風氣も不宜候故、私并蒲戸も身向入念候付、何之
 障も無御座候間、安心思召可被下候、僅之旅ニ而も
 最早數ヶ月押移候程ニ相見得、殊ニ父母様御病後之
 御事も候へ者、於遠所別而心遣仕事候条、乍不申
 御身内可被為入御念儀、專要ニ奉存候、室子共も身持
 を慎候儀尤存候、私事明日当島罷渡、最前之
 宿通ニ而、来ル廿四・五日比者首里罷登申答候間、昨日
 之儀者読谷山着次第、先達而可申上候、此旨為可申上
 文字吉永にや差上申候、猶万□□斯ニ可申上候□
 誠惶誠恐謹言

□□いまた御本服無御座、御吉左右待兼□□
 右之御紙迄拜見、最早可為御全快安心仕候、委之
 被仰下趣、殊更何れも様々当用之品々被遣忝
 仕合奉存候、猶又玉城按司御役中無御替、烈衆
 宿元も不相替由被仰下趣御吹聴申上候処、御安心
 之御事、私々御礼旁申上候様被仰聞候、於宿元按司
 無御障、私以下列之面々も息災罷在、去十六日
 御立願首尾克相勤、樂師旅之御結願をも相仕舞
 安心仕候、其日者上下屋敷中御揃、姉妹方も被召呼
 手を打躍始御祝被下候由、此方ニも何れ□之衆当役
 さはくり中相招皆相祝候□、於番所而総地頭供中
 似念仏共致見物祝儀仕候、御尊名此島之海辺之
 所ニ而風氣も不宜候故、私并蒲戸も身向入念候付、何之
 障も無御座候間、安心思召可被下候、僅之旅ニ而も
 最早數ヶ月押移候程ニ相見得、殊ニ父母様御病後之
 御事も候へ者、於遠所別而心遣仕事候条、乍不申
 御身内可被為入御念儀、專要ニ奉存候、室子共も身持
 を慎候儀尤存候、私事明日当島罷渡、最前之
 宿通ニ而、来ル廿四・五日比者首里罷登申答候間、昨日
 之儀者読谷山着次第、先達而可申上候、此旨為可申上
 文字吉永にや差上申候、猶万□□斯ニ可申上候□
 誠惶誠恐謹言

大月廿日

父上様

伊江親方

奉る報人々御中

一 廿二日、此場江天王寺脱玄長老・越溪長老御出之次第相記候事、

一 廿四日、蒲戸事今朝恩納間切を打立、酉過時分帰宅いたし候事、

一 按司様無御障相列之面々も別条無之由、

一 今日、北谷番所迄御越、明日八ツ時分浦添番所御着被成御考之由、

一 廿五日四ツ過時分、迎二浦添番所江差越候事、

一 九ツ頭時分、玉城按司・親方始島江差越候人数番所御到着被成候付、私持参之重差出銘々致御取替候事、

但、重箱一組 二重メ物 二重あんきんへん

一 室始上下屋敷中又者内間親雲上妻・富盛

祖母・上原按司をなちやら・粟国里之祖母・同人内儀迎二罷越候事、

一 女子五人ニ而饅頭一具器、宜寿次・仲村より
な□あけ到来ニ付、致御馳走候事、
一 宜寿次親方・仲村親方も小重箱ニ菓子・メ物・
焼酎共持参ニ而、いづれも御取替なといたし候事、

九月廿日

伊江親方

父上様

参尊報人々御中

一 廿二日、此場江天王寺脱玄長老・越溪長老御出之次第相記候事、

一 廿四日、蒲戸事今朝恩納間切を打立、酉過時分帰宅いたし候事、

一 按司様無御障相列之面々も別条無之由、

一 今日、北谷番所迄御越、明日八ツ時分浦添番所御着被成御考之由、

一 廿五日四ツ過時分、迎二浦添番所江差越候事、

一 九ツ頭時分、玉城按司・親方始島江差越候人数番所御到着被成候付、私持参之重差出銘々致御取替候事、

但、重箱一組 二重メ物 二重あんきんへん

一 室始上下屋敷中又者内間親雲上妻・富盛

祖母・上原按司をなちやら・粟国里之祖母・同人内儀迎二罷越候事、

一 女子五人ニ而饅頭一具器、宜寿次・仲村より
な□あけ到来ニ付、致御馳走候事、
一 宜寿次親方・仲村親方も小重箱ニ菓子・メ物・
焼酎共持参ニ而、いづれも御取替なといたし候事、

右旁相濟、西過時分按司様御始皆々私宅へ
御出被成候付、私罷出御三献差上、銘々致御取替、
夜入候而御休差上緩々御祝被成候事、

十月

一朔日、蒲戸事去月廿五日伊江島罷帰、早速

上様奉伺御機嫌管候処、長途之草臥不相直、今日

我謝之御殿江參上奉伺御機嫌、島到来之

塩ふた献上仕候付、

御前江被召呼御咄共被仰下、且昼御休等被成下

段々難有次第第二奉存候事、

一塩ふた斤高中八・九斤程取仕出者、去々年

私献上仕候例之通相調、差上候事、

一二日、先日天王寺脱玄長老・越溪長老御出、雲山和尚

下屋敷西之方地方御望三付、被仰聞候次第吟味させ候、

右地方讓上候而者段々差支候訳有之、御断之趣喜久里

里之子江委細申含差遣候処、左之通書面を以首尾申上

見届候事、

一未十月二日、伊江親方御使喜久里里之子、天王寺

脱玄長老・越溪長老御寺江參上申上候口是迄

大和江御登被居候雲山和尚、此方汀志良次

屋敷無抛御望之由三而、去年当年書状を以御申越

之趣有之、右三付去月右親方江御相談被仰聞、

一幼少御事、本年五月より伊江島に居候事
上様御前江被仰言ふ事、長途之草臥不相直、今日
我謝之御殿江參上奉伺御機嫌、島到来之
塩ふた献上仕候付、
御前江被召呼御咄共被仰下、且昼御休等被成下
段々難有次第第二奉存候事、
一塩ふた斤高中八・九斤程取仕出者、去々年
私献上仕候例之通相調、差上候事、
一二日、先日天王寺脱玄長老・越溪長老御出、雲山和尚
下屋敷西之方地方御望三付、被仰聞候次第吟味させ候、
右地方讓上候而者段々差支候訳有之、御断之趣喜久里
里之子江委細申含差遣候処、左之通書面を以首尾申上
見届候事、
一未十月二日、伊江親方御使喜久里里之子、天王寺
脱玄長老・越溪長老御寺江參上申上候口是迄
大和江御登被居候雲山和尚、此方汀志良次
屋敷無抛御望之由三而、去年当年書状を以御申越
之趣有之、右三付去月右親方江御相談被仰聞、

無拋次第候間、親方二而得与相考御返答可申上由、
 右親方被申聞、親方江も格別之儀与存、宜寿次
 親方・仲村親方江も被申談、物方相授置候面々
 召寄吟味させ候処、右屋敷之儀手作二付□供下人共
 飯料差続候付而者、任御望讓上候ハ、家中之賦り
 確与及相違甚差支可申候間、御断申上候様申出、
 親方承届、猶又得与被相考候処、右吟味之趣家中
 取締方之儀二候へ者、別二了簡も難致、且又親父江も
 老体之事二而、為保養折々右屋敷江差越□作共
 見廻、老を養樂二被罷居候付、別而頼母敷存居候、
 □面三而旁以難愈思召御殘多次第御座候、適
 雲山和尚、御家祖を尊□之地方御取留之御所存
 致□心、且和尚□仰下り被成候而も、御居所も無之由
 取分被仰聞候上□何れ之筋吟味之致様有之
 候ハ、思召通相叶候様二仕度、返々吟味させ候へ共、右通
 段々差支候訳相見得、不及是非次第二而及御断候条、
 親方所存之程、宜御返答申上候様被申付、御返答
 申上候処、長老御両所共御取受宜敷、弥其通雲山
 和尚二も御返答可被成段御挨拶致承知、右之趣
 右親方様親方□江首尾申上候事、
 一九日、東郷半兵衛殿、孫次郎養父御頼申上候付、今日
 招請仕候事、

一 浦添御成就、今日

一 御相伴者仲村親方相頼□□、百浦添御成就、今日

一 佐敷按司加那志様御登、城被遊候付、大美御殿江

一 勤有之不被罷出候付、大和横め我喜屋筑登之親雲上、親方

一 兩人御相伴相勤候事、

一 料理者、蒲戸養父郷田源藏殿招請例之通、

一 二二三組之赤飯料理・間之菓子二ツ・吸物・取肴

一 膳部之通致御馳走候事、

一 半兵衛殿御事、此間腰之痛有之、其上御子息

一 かね御烈被成候付、早々御出昼之内御帰被成御考

一 候間、其心得いたし度由、佐久真里之子親雲上被仰聞由候処、

一 緩々御咄、夜之九ツ前御帰被成候事、

一 但、右通被仰聞候付、歌□□詠も□仕候事、

一 半兵衛殿を昆布一折・諸白一瓶御持参、

一 思かめを飽餅一重・寒晒一重持参、

一 進覽物左之通

一 但右通を以て候事、

一 一 金之火炉一ツ□形

一 上々洪扇子式本二箱

一 きん調 一反

一 右、前親方より

一 上々洪扇子式本二箱

一 右、親方より

一 白羽扇子二本二箱

一 白花さや式反

一 鳥絀一反

東郷半兵衛殿

一 金之火炉一ツ□形

一 白羽扇子二本二箱

一 鳥絀一反

東郷半兵衛殿

一 金之火炉一ツ□形

一 白羽扇子二本二箱

一 鳥絀一反

東郷半兵衛殿

一 金之火炉一ツ□形

右、次郎より

東郷思亀

一 扇子一箱白羽絵書

一 大□□一包広は、

一 香堤一

一 墨一箱四丁入

右、前親方より

右、前親方より

一 扇子一箱

一 銅板濟一反

右、親方より

右、親方より

一 十五日、下屋敷差越、月湛長老・越溪長老招上、躍

致見物候事、

致見物候事、

一 躍人数江まんてう硯水いたし候付、長老衆江も汁

菜相付致御馳走候事、

菜相付致御馳走候事、

一 躍師匠始惣人数江も焼酎・砧一ツ・東道盆

一 組まんてう汁菜相付致馳走候事、

一 組まんてう汁菜相付致馳走候事、

一 去十一日右おとり稽古相始、僅五日之日数ニ候処、仕組

宜相見得、師匠出精之詮相立殊勝之至存、別而

忝由、真境名里之子親雲上江致挨拶候事、

一 地謡者いまた上分ニ無之候付、随分相教度由、名護

里之子親雲上江相頼候事、

一 地謡者いまた上分ニ無之候付、随分相教度由、名護里之子親雲上江相頼候事、

一 識名里之子親雲上見廻ニ罷出候付、相馴罷越候処、識名事

御冠船之時老人之祝言葉扇子舞共相勤候付、

一 識名里之子親雲上見廻ニ罷出候付、相馴罷越候処、識名事御冠船之時老人之祝言葉扇子舞共相勤候付、

いつれも二而相望候付、識名も何ぞ無辞退相勤

いつれも二而相望候付、識名も何ぞ無辞退相勤

致見物、座興ニ相成候事、

致見物、座興ニ相成候事、

十八日、宜寿次親方事三司官座敷被成下、難有
次第二奉存候事、

上様を河内國宮縣親方と上役、
差上、亭主仲村親方・伊江親方御杯頂候事、

一 読谷山王子・与那原親方御始御祝儀として多人數御出、王子様者
内江御入被成候付、私御相伴ニ而御三献差上候事、

一 私口之簪借相渡、右二付候而物入も過分之事ニ而、
錢五百貫文私内証物より致合力候事、

一 廿七日、右御位御拜相勤候事、

一 今日相祝、男女御客招請仕筈候処、親方事御城ニ
勤有之、御隙乞不罷成候間、女客者今日相招、男客者
明八日招請仕候事、

一 右二付、玉子五十、親方昆布一折、室・真鶴
赤むしかう二斤き進候事、

一 廿八日、前文之通宜寿次親方今日男客招請仕考ニ而、
諸事其手当仕候処、仲村御前事、此間子之病氣□
到今共二者大切ニ罷成、祝儀差延不申候而不叶、兼而相招置候
客人も申断候、御客御馳走之品もはや相調置候付、
客人見合送膳差上候事、

一同日、仲村御前事、去月廿日比るはやり之風氣相懸り、
身体疹持合ニ而候故、別而差障り、乍然当分之咳氣ニ而

一 石を動かすの一事、
一 赤むしかう二斤き進候事、
一 廿八日、前文之通宜寿次親方今日男客招請仕考ニ而、
諸事其手当仕候処、仲村御前事、此間子之病氣□
到今共二者大切ニ罷成、祝儀差延不申候而不叶、兼而相招置候
客人も申断候、御客御馳走之品もはや相調置候付、
客人見合送膳差上候事、
一同日、仲村御前事、去月廿日比るはやり之風氣相懸り、
身体疹持合ニ而候故、別而差障り、乍然当分之咳氣ニ而

仲村者いまた墓所仕立無之候付、此方・宜寿次御墓
 所之内相葬不申候而不叶事候処、此方墓所者故牛
 いたた洗骨も不致候付、宜寿次御墓所可然相談ニ而、
 其通相決候事、
 一 引導僧者、広徳寺蔭涼長老御頼仕管候処、
 上国ニ付而監司何長老御頼仕候事、
 一 私忌忌服之儀、服制見合候処、跡め入之間柄ニ而無之、
 其通ニ而者情合難黙止、宜寿次親方おなちやら卒去
 之時書留見合候処、右通忌無ニ而八情合不相叶候付、
 本間柄之通内証二十日相慎候由相見得候付、宜寿次
 江も相談を以、十日相慎候筋相決候事、
 一 悴親方忌服之儀、何様有之可然哉、右日記見合候処、
 親方幼少之時分者宜寿次預養育恩儀不輕、
 親分之訳も有之候付、叔父之妻忌服之通廿五日

右儀に候者、御座り候事、此節者一等相下内証二廿日
相慎可然申談置候、

一 仲村供之者共者、服制之通召行、此方・宜寿次江相詰候
供之者共者、三日忌仕候様申付候事、

一 前川里之子親雲上忌服之儀、何様仕候哉与申出候付、前川者
仲村旅与力共相勤、別而親敷有之候付、三日者内証二
相慎可致由申達候事、

十一月 中

一六日、御神御棚之儀、此程二階六畳二奉安置候処、

下二台所相構候付、煙入申筈二而、去三月東之座江奉移
候処、煙吹入不申、東之座方場所宜候付、何れも相談を以
今日本之通西之六畳敷二奉移、みはな・御酒差上、前川親雲上
妻御焼香仕候事、

一十五日、二階之座江会所相立、左之人数相集手習・
学問出精させ候事、

勝連按司 勝連蒲戸 宜寿次龜
孫次郎 樽
中御座 大工廻し 浜元し

右人数江小文筆一本完・百田紙一帖完相讓
候事、

一 今日始而相揃候付、呑口二品々煮調くり候事、

一 三男喜屋武し事、手習・学問二出精有之由承候付、

十月廿六日相招、大工廻子・浜元子同前、童子共
中師匠相頼候事、

十一月廿六日相招、大工廻子・浜元子同前、童子共
素めん一台持参五斤程

一廿九日、前川親雲上妻四男前川し妻相列始而罷出、
一姉方私悴江手掛一ツ完、室・真鶴江宝蔵一ツ完、
孫共銘々江手懸一ツ完相讓候、

一富盛親雲上祖母江宝蔵一ツ、上原御殿真錢・勝連御殿
真かまとも此方罷出居候付、手懸一ツ完相讓候、

一下女物中江も、宝蔵一ツ完相讓候由、
一私・親方江錢三拾貫文完、室・真鶴江式拾貫文完、
婦江相讓候、

一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、
十二月
一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、

十一月廿六日相招、大工廻子・浜元子同前、童子共
素めん一台持参五斤程

一廿九日、前川親雲上妻四男前川し妻相列始而罷出、
一姉方私悴江手掛一ツ完、室・真鶴江宝蔵一ツ完、
孫共銘々江手懸一ツ完相讓候、

一富盛親雲上祖母江宝蔵一ツ、上原御殿真錢・勝連御殿
真かまとも此方罷出居候付、手懸一ツ完相讓候、

一下女物中江も、宝蔵一ツ完相讓候由、
一私・親方江錢三拾貫文完、室・真鶴江式拾貫文完、
婦江相讓候、

一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、
十二月
一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、

十一月廿六日相招、大工廻子・浜元子同前、童子共
素めん一台持参五斤程

十一月廿六日相招、大工廻子・浜元子同前、童子共
素めん一台持参五斤程

一廿九日、前川親雲上妻四男前川し妻相列始而罷出、
一姉方私悴江手掛一ツ完、室・真鶴江宝蔵一ツ完、
孫共銘々江手懸一ツ完相讓候、

一富盛親雲上祖母江宝蔵一ツ、上原御殿真錢・勝連御殿
真かまとも此方罷出居候付、手懸一ツ完相讓候、

一下女物中江も、宝蔵一ツ完相讓候由、
一私・親方江錢三拾貫文完、室・真鶴江式拾貫文完、
婦江相讓候、

一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、
十二月
一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、

十一月廿六日相招、大工廻子・浜元子同前、童子共
素めん一台持参五斤程

一廿九日、前川親雲上妻四男前川し妻相列始而罷出、
一姉方私悴江手掛一ツ完、室・真鶴江宝蔵一ツ完、
孫共銘々江手懸一ツ完相讓候、

一富盛親雲上祖母江宝蔵一ツ、上原御殿真錢・勝連御殿
真かまとも此方罷出居候付、手懸一ツ完相讓候、

一下女物中江も、宝蔵一ツ完相讓候由、
一私・親方江錢三拾貫文完、室・真鶴江式拾貫文完、
婦江相讓候、

一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、
十二月
一此方江千餅菓子・吸物一ツ、内江夜飯致馳走候事、

十一月廿六日相招、大工廻子・浜元子同前、童子共
素めん一台持参五斤程

一 比嘉筑登之親雲上、富盛親雲上中師匠相頼、學問
 出精させ候而者何様候哉与申談、仲村親方江も忝る相談
 いたし候処、則日同意之由被申候付、今日比嘉筑登之親雲上国学江
 差遣、願之趣中取取次、奉行衆江申上相濟候事、
 一 願之趣書付相調、比嘉持参いたし候処、書付不及口上三而
 相濟候由被申、書付も内々奉行衆入御披見候由、
 一 九日、講読師匠新城里之子親雲上、此間祝儀差遣候礼被罷出
 候付、昨日比嘉を以蒲戸教方御頼申候処、弥御許容被成、別而忝
 由致挨拶、吸物二ツ・焼酎共出暫咄共いたし候事、
 一 右通頼方もいたし候付、何敷進申度相合居候処、国吉子
 新城住居所之儀、寒く有之由承、与風存付着懸之
 八丈島□羽織一着、着懸之物二而近比憚存候へ共、任心安二
 進度由致挨拶、取寄進候処、別而忝由厚礼共被申
 候事、
 一 今日、比嘉筑登之親雲上、蒲戸相列新城江罷出、御礼申上
 左之通進候事、
 一 焼酎一瓶 一 玉子五十甲
 一 新城里之子親雲上
 乾隆皇帝御筆之石摺一枚相讓候事、
 但、御筆二槐之図有之、宝物ニ可仕与大悦仕候事、
 一 十四日、真志喜家内之儀二付、物慶里之子親雲上段々存寄之旨趣、

口上扣を以申出趣遂一見届、同廿二日宜寿次親方・仲村親方
相招、私・悴相合致相談候処、惣慶存寄之趣尤之儀ニ候間、
明日伊江按司・奥平親方・垣花親雲上江も致御相談、都而
其通取行候様申付可然与、申談候事、

一 当分首里・地頭所人数差分相管候処、其通ニ而者
二所帯ニ而諸事不勝手相成申候間、首里之家者
売払、皆共地頭所江引越、手作ニ而相働候ハ、兎
哉角飯料も相続可申与存候由、

一 真志喜親雲上事病身ニ相成候処、家内之致世話
候而者、寿命も相はやまり可申与、別而念遣存申候間、
右通取計得候ハ、致安心、保之為ニも可罷成与存候由、

一 御靈前之儀、毎年二八月毎折目
上様御祭被成下、一門衆も御焼香ニ御出被成事
候へ者、田舎江奉移候而者如何敷奉存候間、当分
愚宅江安置仕度相願候由、

一 叔父故惣慶里之子親雲上事、男子出生無之、存在之
時々、三男真志喜里之子猶子仕存念為有之事候間、
故惣慶里之子親雲上妻者真志喜里之子宅江引移、切米
老儀相付、真志喜ニ而孝養仕候筋申談置候由、

一 蒲戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

一 浦戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

一 浦戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

一 浦戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

一 浦戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

一 浦戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

一 浦戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

一 浦戸事、最早十六歳ニ罷成折角稽古物出精
不致候而不叶事候処、田舎江相住居候而者稽古物思様
不罷成、不為ニ可相成候間、真志喜ニ切米式儀相付、

上ノ御書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事

一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事

一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事
一 惣書見奉り申上之由候事

申聞候付、別而忝由承候事、

一 惣慶里之子親雲上差出候書付者、黄ぬり豎□□

格護仕置候、

写□之儀□留

一 親方申聞候者、守役野原にや事此前庫理役共

申付候処、折々懸落いたし、惣聞共る段々嚴敷叱付

候へ共承引無之、且此比庫理方供之者共住居所細物

盜相絶不申、是も野原にや甚疑之由何れも申候付、早々

罪科不申付候而ハ皆々得心無之候間、急度平等所筑

佐事共相雇しはり付流刑申付度由、いつれも申出候処、

右野原事、老母相養候処、母も長子ニ而別而頼存候処、

□通重科申付候ハ、老母命もたまり不申積ニ而、

隣敷存申候、依之得与致思慮候処、包丁勝手ニ有之

候間、先一往者私休式当申付相試候上、何分ニも

決断いたし候而者何様候哉与承候付、私も同意存候間、

其通り申付可然由相決、野原召出右之趣申聞候付、

涙を流御憐恕之次第難有次第第二奉存候間、随分

先非引改可相勤由申出候事、